

2 教養科目（外国語科目）

授業科目	英語Ⅰ (A)	担当者	小林 朋子
	[履修年次] 1年	授業外対応	適宜対応 (要予約)
	[学期] 前期 [単位] 1単位	[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】リスニング力、発音力、文法力を総合的に鍛えることで、スピーキングの基礎力を養成する。</p> <p>【概要】英語のリスニング、文法、読解を総合的に学習することで、バランスのとれた英語力を養います。使用頻度の高い英語表現のリスニングや音読練習、基本的、発展的な文法事項の確認、「フレーズ・リーディング」(意味のまとまりごとに区切って英語の語順で読む読解法)を意識した速読理解の練習などを通して、総合的コミュニケーション能力の向上を目指します。</p> <p>【到達目標】日常生活の様々な場面において、相手の情報や考えを理解でき、プロンディー面は理解に支障がない発音で情報や考えを正確に表現できる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 角山照彦、Simon Capper 著 『Let's Read Aloud & Learn English 音読で始める基礎英語』 成美堂 刊</p> <p>(2) 授業で随時紹介します。</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 Please to meet you. <be 動詞></p> <p>第 3回 Do you remember me? <一般動詞 (現在) ></p> <p>第 4回 I spoke to Ms. Hayashi yesterday. <一般動詞 (過去) ></p> <p>第 5回 When does the meeting start? <疑問詞></p> <p>第 6回 Can you meet me at the airport? <助動詞 1 ></p> <p>第 7回 Feel free to ask me anytime. <文の種類、命令文></p> <p>第 8回 I'm thinking about quitting my job. <進行形></p> <p>第 9回 I'll give her your message. <未来形></p> <p>第 10回 I haven't received the latest figures. <現在完了形></p> <p>第 11回 The cafeteria is closed today. <受動態></p> <p>第 12回 We expect higher sales in China. <比較></p> <p>第 13回 I'd like to check in. <助動詞 2 ></p> <p>第 14回 How about going to the theater? <動名詞></p> <p>第 15回 I like to travel a lot. <to 不定詞></p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。		
成績評価の方法	筆記試験 (70%)、提出物 (10%)、授業への取り組み態度 (20%) で評価する。		
実務経験について	なし		

(注) 教職必修、日本語日本文学専攻

授業科目	英語Ⅰ (A)	担当者	松元 貴子
	[履修年次] 1年	授業外対応	授業後、またはメールにて対応します。
	[学期] 前期 [単位] 1単位	[必修/選択] 必修	[授業形態] 講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語を総合的に学び、主にライティングとスピーキングを通して、表現する力を鍛える。</p> <p>【概要】ライティング活動を通して、アイデアの出し方、パラグラフの構成力を習得する。スピーキング活動を通して、英語の音声を正しく理解し、実践する。また、語彙力・表現力を習得する。ペア活動・グループ活動を通して、相手に伝わる、そして、相手を動かす表現を習得する。</p> <p>【到達目標】構成力のあるライティングができる。自分の書いた文をもとに、正しい音でスピーキングができる。ペアワークでの会話を3分以上続けることができる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布する</p> <p>(2) 適宜紹介する。</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 How to start a conversation & how to introduce myself.</p> <p>第 3回 How to organize a paragraph & Brainstorming.</p> <p>第 4回 Explain about myself & people 1</p> <p>第 5回 Explain about myself & people 2</p> <p>第 6回 Explain about myself & people 3</p> <p>第 7回 Let's talk about myself and people</p> <p>第 8回 Describing about my experience 1</p> <p>第 9回 Describing about my experience 2</p> <p>第 10回 Describing about my experience 3</p> <p>第 11回 Let's talk about my experience</p> <p>第 12回 Presentation project preparation 1</p> <p>第 13回 Presentation project preparation 2</p> <p>第 14回 Presentation project preparation 3</p> <p>第 15回 Preparation and review for final</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。		
成績評価の方法	授業内での活動への取り組み (25%) + ライティングなどの提出物 (25%) + グループ発表・プレゼンテーション発表 (50%)		
実務経験について	なし		

(注) 教職必修、日本語日本文学専攻

授業科目	英語Ⅰ (B)		担当者	新福 豊実
	[履修年次] 1年	[学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Access』 Pearson Longman</p> <p>(2) 授業時に適宜指示する。</p>			
授業スケジュール	<p>第 1 回 Class overview: Clarification language and classroom interaction. (Unit zero)</p> <p>第 2 回 Asking/Giving personal information (Unit 1)</p> <p>第 3 回 Following instructions (Unit 2)</p> <p>第 4 回 Personal item vocabulary (Unit 3)</p> <p>第 5 回 Telling time/talking about schedules/common activities (Unit 4)</p> <p>第 6 回 Family relationship vocabulary (Unit 5)</p> <p>第 7 回 Describing clothing / shopping (Unit 6)</p> <p>第 8 回 Review I</p> <p>第 9 回 Talk about your past (Unit 7)</p> <p>第 10 回 Describe animals and (Unit 8)</p> <p>第 11 回 Talk about things you can and can't do (Unit 9)</p> <p>第 12 回 Ask about likes and dislikes (Unit 10)</p> <p>第 13 回 Talk about rules and laws in other countries (Unit 11)</p> <p>第 14 回 Make up a story and tell it to your partner (Unit 12)</p> <p>第 15 回 Review II</p>			
授業外学習(予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。			
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (30%) 課題 (20%) ポートフォリオ (10%)			
実務経験について	なし			

(注) 教職必修, 生活科学専攻

授業科目	英語Ⅰ (B)		担当者	新福 豊実
	[履修年次] 1年	[学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Access』 Pearson Longman</p> <p>(2) 授業時に適宜指示する。</p>			
授業スケジュール	<p>第 1 回 Class overview: Clarification language and classroom interaction. (Unit zero)</p> <p>第 2 回 Asking/Giving personal information (Unit 1)</p> <p>第 3 回 Following instructions (Unit 2)</p> <p>第 4 回 Personal item vocabulary (Unit 3)</p> <p>第 5 回 Telling time/talking about schedules/common activities (Unit 4)</p> <p>第 6 回 Family relationship vocabulary (Unit 5)</p> <p>第 7 回 Describing clothing / shopping (Unit 6)</p> <p>第 8 回 Review I</p> <p>第 9 回 Talk about your past (Unit 7)</p> <p>第 10 回 Describe animals and (Unit 8)</p> <p>第 11 回 Talk about things you can and can't do (Unit 9)</p> <p>第 12 回 Ask about likes and dislikes (Unit 10)</p> <p>第 13 回 Talk about rules and laws in other countries (Unit 11)</p> <p>第 14 回 Make up a story and tell it to your partner (Unit 12)</p> <p>第 15 回 Review II</p>			
授業外学習(予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。			
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (30%) 課題 (20%) ポートフォリオ (10%)			
実務経験について	なし			

(注) 教職必修, 生活科学専攻

授業科目	英語 I (C)		担当者	新福 豊実
	[履修年次] 1年	[学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
			[必修/選択] 必修	[授業形態] 講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Access』 Pearson Longman (2) 授業時に適宜指示する。			
授業スケジュール	第 1 回 Class overview: Clarification language and classroom interaction. (Unit zero) 第 2 回 Asking/Giving personal information (Unit 1) 第 3 回 Following instructions (Unit 2) 第 4 回 Personal item vocabulary (Unit 3) 第 5 回 Telling time/talking about schedules/common activities (Unit 4) 第 6 回 Family relationship vocabulary (Unit 5) 第 7 回 Describing clothing / shopping (Unit 6) 第 8 回 Review I 第 9 回 Talk about your past (Unit 7) 第 10 回 Describe animals and (Unit 8) 第 11 回 Talk about things you can and can't do (Unit 9) 第 12 回 Ask about likes and dislikes (Unit 10) 第 13 回 Talk about rules and laws in other countries (Unit 11) 第 14 回 Make up a story and tell it to your partner (Unit 12) 第 15 回 Review II			
授業外学習(予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。			
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (30%) 課題 (20%) ポートフォリオ (10%)			
実務経験について	なし			

(注) 教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	英語 I (C)		担当者	小林 朋子
	[履修年次] 1年	[学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	適宜対応 (要予約)
			[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】リスニング力、発音力、文法力を総合的に鍛えることで、スピーキングの基礎力を養成する。</p> <p>【概要】英語のリスニング、文法、読解を総合的に学習することで、バランスのとれた英語力を養います。使用頻度の高い英語表現のリスニングや音読練習、基本的、発展的な文法事項の確認、「フレーズ・リーディング」(意味のまとまりごとに区切って英語の語順で読む読解法)を意識した速読理解の練習などを通して、総合的コミュニケーション能力の向上を目指します。</p> <p>【到達目標】日常生活の様々な場面において、相手の情報や考えを理解でき、プロソディーは理解に支障がない発音で情報や考えを正確に表現できる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) 角山照彦、Simon Capper 著 『Let's Read Aloud & Learn English 音読で始める基礎英語』 成美堂 刊 (2) 授業で随時紹介します。			
授業スケジュール	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 Please to meet you. <be 動詞> 第 3 回 Do you remember me? <一般動詞 (現在) > 第 4 回 I spoke to Ms. Hayashi yesterday. <一般動詞 (過去) > 第 5 回 When does the meeting start? <疑問詞> 第 6 回 Can you meet me at the airport? <助動詞 1 > 第 7 回 Feel free to ask me anytime. <文の種類、命令文> 第 8 回 I'm thinking about quitting my job. <進行形> 第 9 回 I'll give her your message. <未来形> 第 10 回 I haven't received the latest figures. <現在完了形> 第 11 回 The cafeteria is closed today. <受動態> 第 12 回 We expect higher sales in China. <比較> 第 13 回 I'd like to check in. <助動詞 2 > 第 14 回 How about going to the theater? <動名詞> 第 15 回 I like to travel a lot. <to 不定詞>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。			
成績評価の方法	筆記試験 (70%)、提出物 (10%)、授業への取組み態度 (20%) で評価する。			
実務経験について	なし			

(注) 教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	英語 I (D)		担当者	金岡 正夫
	[履修年次] 1年	[学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
			[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語の音読スキルと知識の向上に努め、プレゼンテーションに役立つ発信能力も身につける。同時に読解能力を養う上で、大学生として知っておくべき国内外の大学事情に興味をもち、知見を深めていく。</p> <p>【概要】実社会や海外に通用する大学生づくりを英語使用を通して高めていく。同時に自国の歴史、特に明治期に文明開化と国際化に出会った歴史についてもふれていく。授業では考えたり、話し合いをもとに内容を深め、それを確かな自分の姿(卒業後の進路・キャリアプランを含めて)にもつなげていく。</p> <p>【到達目標】発音記号の読み方、ポーズの入れ方、安定した速度とテンポ、流暢な連結発音、感情移入(バラ言語)ーこうした音読知識とスキルを高めていく。それを応用するために、テキストで学んだことを英語や日本語で書き、プレゼンテーションできる能力を磨く。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 良質なテキストで自己成熟&英語成熟をめざして(英宝社) ISBN 978-4-269-13017-3</p> <p>(2) 特になし</p>			
授業スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 音読知識・スキル(発音、アクセント)</p> <p>第 3回 音読知識・スキル(チャンキングルール)</p> <p>第 4回 音読知識・スキル(リエゾン、WPM)</p> <p>第 5回 音読知識・スキル(バラ言語)</p> <p>第 6回 読解方略(1) 論理構成・展開の理解</p> <p>第 7回 読解方略(2) 英文のつながりと重要語彙</p> <p>第 8回 読解方略(3) 内容理解(要約)</p> <p>第 9回 読解方略(4) 内容理解(Gist Making)</p> <p>第 10回 発表、聞き取り、質疑応答練習(1)(日本語)</p> <p>第 11回 発表、聞き取り、質疑応答練習(2)(日本語)</p> <p>第 12回 発表、聞き取り、質疑応答練習(1)(英語)</p> <p>第 13回 発表、聞き取り、質疑応答練習(2)(英語)</p> <p>第 14回 まとめ(1) 大学生として知るべき価値観、世界観、国内の歴史</p> <p>第 15回 まとめ(2) 大学生として知るべき価値観、世界観、国内の歴史</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示します			
成績評価の方法	復習テスト(40%)、予習課題を使った授業中の発表等(20%)、レポート(日本語、英語)(40%)			
実務経験について				

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語 I (D)		担当者	石原 知英
	[履修年次] 1年	[学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	原則授業後に行う。必要に応じてメールによる対応も可。
			[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語による自己発信(書くことと話すこと)と相互理解</p> <p>【概要】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ(あるいはプレゼンテーション)を聞いたり読んだりすることで、その構成や表現を理解するとともに、各自でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点や自分の考えなどを的確に伝え合うための活動を行います。</p> <p>【到達目標】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ(あるいはプレゼンテーション)を聞いたり読んだりすることで、その構成や表現を理解するとともに、各自でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点や自分の考えなどを的確に伝え合うための活動を行います。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布する</p> <p>(2) 適宜紹介する</p>			
授業スケジュール	<p>第 1回 授業ガイダンス(到達目標、スケジュールおよび毎時の課題の説明)</p> <p>第 2回 Informative Presentation 1: 時系列で述べる</p> <p>第 3回 Informative Presentation 2: 場所について述べる</p> <p>第 4回 Informative Presentation 3: 話題ごとに述べる</p> <p>第 5回 Informative Presentation 4: 分類する</p> <p>第 6回 Informative Presentation 5: 定義する</p> <p>第 7回 Informative Presentation 6: 多角的に説明する</p> <p>第 8回 中間プレゼンテーションと振り返り</p> <p>第 9回 Persuasive Presentation 1: 賛成する・反対する</p> <p>第 10回 Persuasive Presentation 2: 事実に基づいて主張する</p> <p>第 11回 Persuasive Presentation 3: 問題点を指摘する</p> <p>第 12回 Persuasive Presentation 4: 改善策を提案する</p> <p>第 13回 Persuasive Presentation 5: 因果関係を論じる</p> <p>第 14回 Persuasive Presentation 6: 比較して主張する</p> <p>第 15回 最終プレゼンテーションと振り返り</p>			
授業外学習(予習・復習)	スピーチ原稿の作成と発表に向けた練習(予習)、前時に学習した語句・表現および列文の確認(復習)			
成績評価の方法	毎週の授業内課題(小テスト20%、振り返りシート20%) クラスでの発表課題(中間プレゼンテーション20%、最終プレゼンテーション40%)			
実務経験について				

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅰ (D)		担当者	石原 知英
	[履修年次] 1年		授業外対応	原則授業後に行う。必要に応じてメールによる対応も可。
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語による自己発信（書くことと話すこと）と相互理解</p> <p>【概要】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ（あるいはプレゼンテーション）を聞いたり読んだりすることで、その構成や表現を理解するとともに、各自でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点や自分の考えなどを的確に伝え合うための活動を行います。</p> <p>【到達目標】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ（あるいはプレゼンテーション）を聞いたり読んだりすることで、その構成や表現を理解するとともに、各自でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点や自分の考えなどを的確に伝え合うための活動を行います。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布する</p> <p>(2) 適宜紹介する</p>			
授業スケジュール	<p>第 1回 授業ガイダンス（到達目標、スケジュールおよび毎時の課題の説明）</p> <p>第 2回 Informative Presentation 1: 時系列で述べる</p> <p>第 3回 Informative Presentation 2: 場所について述べる</p> <p>第 4回 Informative Presentation 3: 話題ごとに述べる</p> <p>第 5回 Informative Presentation 4: 分類する</p> <p>第 6回 Informative Presentation 5: 定義する</p> <p>第 7回 Informative Presentation 6: 多角的に説明する</p> <p>第 8回 中間プレゼンテーションと振り返り</p> <p>第 9回 Persuasive Presentation 1: 賛成する・反対する</p> <p>第 10回 Persuasive Presentation 2: 事実に基づいて主張する</p> <p>第 11回 Persuasive Presentation 3: 問題点を指摘する</p> <p>第 12回 Persuasive Presentation 4: 改善策を提案する</p> <p>第 13回 Persuasive Presentation 5: 因果関係を論じる</p> <p>第 14回 Persuasive Presentation 6: 比較して主張する</p> <p>第 15回 最終プレゼンテーションと振り返り</p>			
授業外学習(予習・復習)	スピーチ原稿の作成と発表に向けた練習（予習）、前時に学習した語句・表現および例文の確認（復習）			
成績評価の方法	毎週の授業内課題（小テスト 20%、振り返りシート 20%）クラスでの発表課題（中間プレゼンテーション 20%、最終プレゼンテーション 40%）			
実務経験について				

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅰ (D)		担当者	米村 大輔
	[履修年次] 1年		授業外対応	適宜対応
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語の基本4技能を養いつつ、現代の社会事情について考える。</p> <p>【概要】各回、現代の社会事情について特定のトピックを扱い、タスクを通して「読む」「聞く」「話す」「書く」技能をバランスよく身につける。また基礎英文法の定着も図る。</p> <p>【到達目標】大きく変化しつつある現代社会に対応しながら、日常の様々な場面で情報の理解、発信を英語で的確に行えるようになる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Jonathan Lynch 委文光太郎 著 『Trend Scope』</p> <p>(2) 適宜紹介</p>			
授業スケジュール	<p>第 1回 Resellers-Good or Bad? (be 動詞)</p> <p>第 2回 About Earphones (一般動詞)</p> <p>第 3回 Cash Registers (名詞・代名詞)</p> <p>第 4回 Funny Happenings During Online Lessons (過去形)</p> <p>第 5回 Loose-Fitting Clothing (進行形)</p> <p>第 6回 Shrinkflation (Wh 疑問文)</p> <p>第 7回 Living in the Countryside (前置詞)</p> <p>第 8回 Hanging Out in Streets and Parks (接続詞)</p> <p>第 9回 Plant Burgers Are Popular in America (現在完了形)</p> <p>第 10回 South Korean Culture Is popular Worldwide (未来表現)</p> <p>第 11回 Doxing (助動詞)</p> <p>第 12回 Fast Movies (受動態)</p> <p>第 13回 Do We Need a "Dislike" Button on Social Media? (形容詞・副詞)</p> <p>第 14回 Ramen Subscription (不定詞・動名詞)</p> <p>第 15回 Which Video-Sharing App Is Best? (比較級・最上級)</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。			
成績評価の方法	小テスト(30%)、課題(20%)、振り返りシート(30%)、授業での取り組み(20%)			
実務経験について				

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅱ (A)		担当者	パトリック・ゴース
	[履修年次] 1年	[学期] 前期	[単位] 1単位	[授業外対応] 必修
テーマ及び概要	<p>【テーマ】English II A is a four skills course with an emphasis on speaking and listening. Students will complete information gap, fill in the gap and communication exchange activities. Students will be required to work in pairs and groups and assist each other in</p> <p>【概要】Students will work have regular homework assignments.</p> <p>【到達目標】The aim of the course is to develop their overall English abilities.</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Smart Choice 2A Third Edition, Ken Wilson, Oxford University Press (2)			
授業スケジュール	第 1回 Class orientation 第 2回 Unit 1 How was your vacation? 第 3回 Unit 1 How was your vacation? 第 4回 Unit 1 How was your vacation? 第 5回 Unit 2 I think it's exciting! 第 6回 Unit 2 I think it's exciting! 第 7回 Unit 2 I think it's exciting! 第 8回 Unit 3 Do it before you're 30! 第 9回 Unit 3 Do it before you're 30! 第 10回 Unit 4 The best place in the world! 第 11回 Unit 4 The best place in the world! 第 12回 Unit 5 Where's the party? 第 13回 Unit 5 Where's the party? 第 14回 Unit 6 You should try it! 第 15回 Final Exam			
授業外学習(予習・復習)				
成績評価の方法	Final Exam (50%), Speaking test (30%), Quizzes (10%), Attendance (10%)			
実務経験について				

(注) 日本語日本文学専攻

授業科目	英語Ⅱ (A)		担当者	ガルシア・アロヨ ホルヘ
	[履修年次] 1年	[学期] 後期	[単位] 1単位	[授業外対応] 必修
テーマ及び概要	<p>【テーマ】Students will develop their communication, listening and grammar skills in English through discussing about different general topics of everyday life from the textbook.</p> <p>【概要】Students will work on speaking and listening skills through discussing about a wide range of grammar-based general everyday topics from the text book.</p> <p>【到達目標】Students will be able to maintain spontaneous conversations on a variety of everyday life topics while improving their listening skills and acquiring new vocabulary and expressions.</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Marc Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown, 『English Firsthand 1, Fifth Edition』, Pearson (2)			
授業スケジュール	第 1回 Introduction to the course. Unit 1. Hobbies and interests . Self-introductions. 第 2回 Unit 1. Pair talk. Using simple present . Unit review. 第 3回 Unit 2. Appearance adjectives. Describing your friends. 第 4回 Unit 2. Pair talk. Differences between have and be in simple present . Unit review. 第 5回 Unit 3. Daily activities and routines. Making a date. 第 6回 Unit 3. Pair talk. Using adverbs of frequency. Unit Review. 第 7回 Unit 4. Locations. Negotiating with a parent. 第 8回 Unit 4. Pair talk. Using prepositions with there is and there are. Unit review. 第 9回 Unit 5. Giving directions. Asking for directions. 第 10回 Unit 5. Pair talk. Using imperative form with prepositions. Unit review. 第 11回 Unit 6. Important events in life, past experiences. Talk about a trip you took. 第 12回 Unit 6. Pair talk. Using the past tense: irregular verbs. Unit review. 第 13回 Unit 7. Types of Jobs. What do you do? 第 14回 Unit 7. Pair talk. Using the simple present to ask about jobs and skills. Unit review 第 15回 Course review.			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示			
成績評価の方法	In-class activities (40%) + final presentation (60%)			
実務経験について	I have been teaching this class since 2019.			

(注) 日本語日本文学専攻

授業科目	英語Ⅱ (B)		担当者	デビッド・マルチネズ・ガッデューラ		
	[履修年次] 1年	[学期] 前期	[単位] 1単位	授業外対応	After the class	
			[必修/選択]	必修	[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course will provide students with basic speaking and listening skills to help them engage in active and meaningful conversations in English. Drawing from a number of resources including texts, students will be provided some fundamental tools us</p> <p>【概要】 Students will discuss selected topics and respond to opinions using clearly defined and easily reproduced conversation models. In-class activities will be supplemented with some homework assignments.</p> <p>【到達目標】 The course will emphasize reducing unnatural silence, confirming information and responding to questions concisely and accurately. Initiating as well as maintaining a dialogue will also be stressed.</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>					
授業スケジュール	<p>第 1 回 Course overview and survey</p> <p>第 2 回 The 5 Ws for making/understanding questions</p> <p>第 3 回 Describing a person</p> <p>第 4 回 Clothing and fashion</p> <p>第 5 回 Cooking and eating</p> <p>第 6 回 Going and coming back, traveling</p> <p>第 7 回 Complaining, recommending and commanding</p> <p>第 8 回 Review Test 1</p> <p>第 9 回 Hobbies and Weekend Activities</p> <p>第 10 回 How to keep conversation going</p> <p>第 11 回 Memories of childhood</p> <p>第 12 回 Memories of other places</p> <p>第 13 回 Talking about problems</p> <p>第 14 回 Giving advice</p> <p>第 15 回 Review Test 2</p>					
授業外学習(予習・復習)	適宜指示					
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%					
実務経験について						

(注) 教職必修, 生活科学専攻

授業科目	英語Ⅱ (B)		担当者	ガルシア・アロヨ ホルヘ		
	[履修年次] 1年	[学期] 前期	[単位] 1単位	授業外対応	By email	
			[必修/選択]	必修	[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Students will develop their communication, listening and grammar skills in English through discussing about different general topics of everyday life from the textbook.</p> <p>【概要】 Students will work on speaking and listening skills through discussing about a wide range of grammar-based general everyday topics from the text book.</p> <p>【到達目標】 Students will be able to maintain spontaneous conversations on a variety of everyday life topics while improving their listening skills and acquiring new vocabulary and expressions.</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown, 『English Firsthand 1, Fifth Edition』, Pearson</p> <p>(2)</p>					
授業スケジュール	<p>第 1 回 Introduction to the course.</p> <p>Unit 1. Hobbies and interests . Self-introductions.</p> <p>第 2 回 Unit 1. Pair talk . Using simple present . Unit review.</p> <p>第 3 回 Unit 2. Appearance adjectives. Describing your friends.</p> <p>第 4 回 Unit 2. Pair talk. Differences between have and be in simple present . Unit review.</p> <p>第 5 回 Unit 3. Daily activities and routines. Making a date.</p> <p>第 6 回 Unit 3. Pair talk. Using adverbs of frequency. Unit Review.</p> <p>第 7 回 Unit 4. Locations. Negotiating with a parent.</p> <p>第 8 回 Unit 4. Pair talk. Using prepositions with there is and there are. Unit review.</p> <p>第 9 回 Unit 5. Giving directions. Asking for directions.</p> <p>第 10 回 Unit 5. Pair talk. Using imperative form with prepositions. Unit review.</p> <p>第 11 回 Unit 6. Important events in life, past experiences. Talk about a trip you took.</p> <p>第 12 回 Unit 6. Pair talk. Using the past tense: irregular verbs. Unit review.</p> <p>第 13 回 Unit 7. Types of Jobs. What do you do?</p> <p>第 14 回 Unit 7. Pair talk. Using the simple present to ask about jobs and skills. Unit review</p> <p>第 15 回 Course review.</p>					
授業外学習(予習・復習)	適宜指示					
成績評価の方法	In-class activities (40%) + final presentation (60%)					
実務経験について	I have been teaching this class since 2018.					

(注) 教職必修, 生活科学専攻

授業科目	英語Ⅱ (C)	担当者	ジョン・トレマーコ
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Everyday Conversation.</p> <p>【概要】 This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review the basic grammar needed to engage in those conversations.</p> <p>【到達目標】 To improve students' English communication skills.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	(1) English with Hit Songs, Author(s): T. Kadoyama & S. Capper Publisher: Seibido (2)		
授業スケジュール	第 1回 Introduction and Orientation Explanation of course aims, tests, evaluation methods and teacher expectations. (導入ーコースの目標についての説明) 第 2回 Unit 1: My heart will go on 第 3回 Unit 2: Open arms 第 4回 Unit 3: Life 第 5回 Unit 4: Don't look back in anger 第 6回 Unit 5: A whole new world 第 7回 Unit 6: I don't want to miss a thing 第 8回 Unit 7: Review 1 第 9回 Unit 8: The stranger 第 10回 Unit 9: Hey Now 第 11回 Unit 10: Every time I close my eyes 第 12回 Unit 11: Kiss of life 第 13回 Unit 12: All I want for Christmas is you 第 14回 Unit 13: Livin' la vida loca 第 15回 Unit 14: Review 2 and Course Review; followed by an end of term test in week 16		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Classroom Contribution 20% Groupwork/Homework 40% Final Test 40%		
実務経験について			

(注) 教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	英語Ⅱ (C)	担当者	内尾ホープ
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	
		[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 The textbook contains reading, listening and speaking exercises on various topics. The main objective is for students to develop their listening, speaking and writing skills.</p> <p>【概要】 Students will mainly practice listening to and speaking English.</p> <p>【到達目標】 The emphasis will be on improving listening, speaking and writing skills.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Undecided (2)		
授業スケジュール	第 1回 Introduction 第 2回 Lesson 1: listening, speaking, and writing 第 3回 Review and Quiz; Lesson 2: listening, speaking, and writing 第 4回 Review and Quiz; Lesson 3 listening, speaking, and writing 第 5回 Review and Quiz; Lesson 4: listening, speaking, and writing 第 6回 Review and Quiz; Lesson 5: listening, speaking, and writing 第 7回 Review and Quiz; Lesson 6: listening, speaking, and writing 第 8回 Midterm; Lesson 7: listening, speaking, and writing 第 9回 Review and Quiz; Lesson 8: listening, speaking, and writing 第 10回 Review and Quiz; Lesson 9: listening, speaking, and writing 第 11回 Review and Quiz; Lesson 10: listening, speaking, and writing 第 12回 Review and Quiz; Lesson 11: listening, speaking, and writing 第 13回 Review and Quiz; Lesson 12: listening, speaking, and writing 第 14回 Review and Quiz; Lesson 12: listening, speaking, and writing 第 15回 Review and Quiz; Lesson 6: listening, speaking, and writing		
授業外学習(予習・復習)	A short homework assignment will be assigned each week.		
成績評価の方法	Homework and short quizzes: 20% Midterm: 30% Final Exam: 50%		
実務経験について			

(注) 教職必修, 食物栄養専攻

授業科目	英語Ⅱ (D)	担当者	グレゴリー・ダン
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択]	必修 [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course aims to develop the listening and speaking proficiency of students through the study and use of English in everyday situations. The topics in each unit reflect the kinds of situations students come across both when studying in Japan and a</p> <p>【概要】 Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to comprehend spoken English and to use English in short conversation and brief presentations.</p> <p>【到達目標】 Emphasis will be placed on developing the students ability, and confidence, to speak smoothly and naturally while engaging in short conversations.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Listen Up, Talk Back, Book 1. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 Introduction of the course and key topics</p> <p>第 2回 Meeting New People</p> <p>第 3回 Home</p> <p>第 4回 Family</p> <p>第 5回 Transportation in the City</p> <p>第 6回 Shopping</p> <p>第 7回 Celebrations</p> <p>第 8回 Review Quiz</p> <p>第 9回 Volunteering</p> <p>第10回 Staying Well</p> <p>第11回 Pets</p> <p>第12回 Free Time Activities</p> <p>第13回 Music</p> <p>第14回 Review of key units in class groups</p> <p>第15回 Final Oral Review Practice in pairs</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Quizzes 20% Exams 30%		
実務経験について			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅱ (D)	担当者	デビッド・マルチネス・ガッデュエラ
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	After the class
		[必修/選択]	必修 [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course will provide students with basic speaking and listening skills to help them engage in active and meaningful conversations in English. Drawing from a number of resources including texts, students will be provided some fundamental tools us</p> <p>【概要】 Students will discuss selected topics and respond to opinions using clearly defined and easily reproduced conversation models. In-class activities will be supplemented with some homework assignments.</p> <p>【到達目標】 The course will emphasize reducing unnatural silence, confirming information and responding to questions concisely and accurately. Initiating as well as maintaining a dialogue will also be stressed.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 Course overview and survey</p> <p>第 2回 The 5 Ws for making/understanding questions</p> <p>第 3回 Describing a person</p> <p>第 4回 Clothing and fashion</p> <p>第 5回 Cooking and eating</p> <p>第 6回 Going and coming back, traveling</p> <p>第 7回 Complaining, recommending and commanding</p> <p>第 8回 Review Test 1</p> <p>第 9回 Hobbies and Weekend Activities</p> <p>第10回 How to keep conversation going</p> <p>第11回 Memories of childhood</p> <p>第12回 Memories of other places</p> <p>第13回 Talking about problems</p> <p>第14回 Giving advice</p> <p>第15回 Review Test 2</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%		
実務経験について			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅱ (D)	担当者	グレゴリー・ダン
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択]	必修 [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course aims to develop the listening and speaking proficiency of students through the study and use of English in everyday situations. The topics in each unit reflect the kinds of situations students come across both when studying in Japan and a</p> <p>【概要】 Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to comprehend spoken English and to use English in short conversation and brief presentations.</p> <p>【到達目標】 Emphasis will be placed on developing the students ability, and confidence, to speak smoothly and naturally while engaging in short conversations.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Listen Up, Talk Back, Book 1. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 Introduction of the course and key topics</p> <p>第 2回 Meeting New People</p> <p>第 3回 Home</p> <p>第 4回 Family</p> <p>第 5回 Transportation in the City</p> <p>第 6回 Shopping</p> <p>第 7回 Celebrations</p> <p>第 8回 Review Quiz</p> <p>第 9回 Volunteering</p> <p>第10回 Staying Well</p> <p>第11回 Pets</p> <p>第12回 Free Time Activities</p> <p>第13回 Music</p> <p>第14回 Review of key units in class groups</p> <p>第15回 Final Oral Review Practice in pairs</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Quizzes 20% Exams 30%		
実務経験について			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅱ (D)	担当者	ジョン・トレマーコ
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択]	必修 [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Everyday Conversation.</p> <p>【概要】 This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review the basic grammar needed to engage in those conversations. If attitudes and abilities allow it, we will endeavour to introduce the busine</p> <p>【到達目標】 To improve students' English communication skills.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) English with Hit Songs, Author(s): T. Kadoyama & S. Capper Publisher: Seibido</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 Introduction and Orientation Explanation of course aims, tests, evaluation methods and teacher expectations. (導入ーコースの目標についての説明)</p> <p>第 2回 Unit 1: My heart will go on</p> <p>第 3回 Unit 2: Open arms</p> <p>第 4回 Unit 3: Life</p> <p>第 5回 Unit 4: Don't look back in anger</p> <p>第 6回 Unit 5: A whole new world</p> <p>第 7回 Unit 6: I don't want to miss a thing</p> <p>第 8回 Unit 7: Review 1</p> <p>第 9回 Unit 8: The stranger</p> <p>第10回 Unit 9: Hey Now</p> <p>第11回 Unit 10: Every time I close my eyes</p> <p>第12回 Unit 11: Kiss of life</p> <p>第13回 Unit 12: All I want for Christmas is you</p> <p>第14回 Unit 13: Livin' la vida loca</p> <p>第15回 Unit 14: Review 2 and Course Review; followed by an end of term test in week 16</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Classroom Contribution 20% Groupwork/Homework 40% Final Test 40%		
実務経験について			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅲ (A)		担当者	ジェイムズ・マレー
	[履修年次]	2年	授業外対応	授業終了後
	[学期]	前期	[単位]	1単位
			[必修/選択]	選択
			[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This is a course for practicing all skills in English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and Comprehension.</p> <p>【概要】 Lectures will teach vocabulary, phrases, and grammar that is used in everyday English conversation. Students will learn useful English for introductions, expressing emotions, making excuses and explanations, etc. Relaxed group discussions will give st</p> <p>【到達目標】 The aim of this course is to learn the basic skills of English used in everyday life, and to improve confidence in communicating and expressing oneself.</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Helgesen, Wiltshier, Brown 「English Firsthand 2」 (Fifth Edition) Pearson, 2018 (ISBN: 9789813130234) (2)			
授業スケジュール	第 1回 Unit 1: Introductions and Relationships 第 2回 Unit 1: Using Simple past; Simple present; Present perfect; Present Continuous 第 3回 Unit 2: Feelings and Emotions 第 4回 Unit 2: Using Conditionals; Adjectives for emotions 第 5回 Quiz (1) and Discussion 第 6回 Unit 3: Making Recommendations 第 7回 Unit 3: Comparatives and Superlatives to describe places; Amplifiers for comparisons 第 8回 Unit 4: Sharing opinions; Agreeing and Disagreeing 第 9回 Unit 4: Using Superlatives to describe events; Tag questions 第 10回 Quiz (2) and Discussion 第 11回 Unit 5: Excuses and Requests; Accepting and Refusing 第 12回 Unit 5: Using Could and Would; Using clauses in complex sentences 第 13回 Unit 6: Culture differences; Symbols 第 14回 Unit 6: Using wh~ questions; Relative pronouns 第 15回 Final Exam			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示			
成績評価の方法	Class participation 授業での参加の度合 (25%), Tests 試験 (50%), Homework 宿題 (25%)			
実務経験について				

※食物栄養専攻、生活科学専攻

授業科目	英語Ⅲ (B)		担当者	グレゴリー・ダン
	[履修年次]	1,2年	授業外対応	
	[学期]	後期	[単位]	1単位
			[必修/選択]	選択
			[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course focuses on the use of conversational English in everyday settings and situations. It provides the students with many opportunities to develop their listening skills, conversational skills, and vocabulary knowledge.</p> <p>【概要】 Students will listen to short conversations, practice short conversations, and develop/create their own conversations. Student will create role plays and perform them before the class.</p> <p>【到達目標】 This course aims to develop the students overall proficiency in the use of conversational English. By giving the students many opportunities to practice their English (in pairs, small groups, and before the class) the course aims to strengthen the s</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) Listen to this! (Intermediate) by James Bean with Gillian Flaherty, (Seibido Press) (2)			
授業スケジュール	第 1回 Introduction to the course and key topics. "Please leave a message" 第 2回 You need a break! 第 3回 I think we're lost 第 4回 Where did you grow up? 第 5回 It's a goal! 第 6回 Sightseeing 第 7回 TV violence 第 8回 I'd like to return this 第 9回 What a great vacation! 第 10回 Can you help me with my essay? 第 11回 What happens to our trash? 第 12回 I feel terrible 第 13回 Future plans 第 14回 I disagree! 第 15回 Review and Conversational Practice			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示			
成績評価の方法	Short Presentations 30%, Homework 20%, Quizzes 20%, Exams 30 %			
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations			

※食物栄養専攻、生活科学専攻

授業科目	英語Ⅲ (C)		担当者	金岡 正夫
	[履修年次]	1,2年	授業外対応	授業終了後
	[学期]	後期	[単位]	1単位
			[必修/選択]	必修
			[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語の読解および音読活動を通して大学生の視点から幅広く、奥深く自身の考え、価値観、社会観、世界観について、より具体的に説明できる活動に取り組む。そのために自国の歴史、とくに西欧との開国と英語の到来を迎えた明治期の動きだけでなく、現代の大学生たち（英語圏）が受けている授業や取り組んでいるテーマを紹介していく。</p> <p>【概要】テーマでふれた内容について、テキストを使いながら深く、幅広く理解し、同時に自身のアイデンティティ構築にも取り組んでいく。そのために積極的に日本語（母語）と英語（外国語）を活用していく。予習課題をもとに学習強化をはかっていく。復習テスト等により、さらなる強化をはかる。</p> <p>【到達目標】正確かつスムーズに英文を音読できるようにする。同時に自分の考えや意見も英語で示せるようにする。その前提として、内容理解の読解方略も学んでいく。論理的内容を日本語と英語で作れるよう、ライティングにむけた基本知識も習得し、応用できるようにする。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 良質なテキストで自己成熟&英語成熟をめざして（英宝社）ISBN 978-4-269-13017-3</p> <p>(2) 特になし</p>			
授業スケジュール	<p>第 1回 オリエンテーション</p> <p>第 2回 音読知識とテクニック (1) 発音、アクセント</p> <p>第 3回 音読知識とテクニック (2) チャンキングルールとフレーズリーディング</p> <p>第 4回 音読知識とテクニック (3) 連結発音（リエゾン）に関するルールの理解と実践</p> <p>第 5回 音読知識とテクニック (4) Words Per Minute (WPM) を使った安定した速読練習</p> <p>第 6回 音読知識とテクニック (5) パラ言語の理解と応用実践</p> <p>第 7回 音読知識とテクニック (6) 学習したすべての項目を統合したスピーキング練習 (1)</p> <p>第 8回 音読知識とテクニック (6) 学習したすべての項目を統合したスピーキング練習 (2)</p> <p>第 9回 英文読解に向けた方略 (1) テキストの論理の流れの理解（タテのつながり）</p> <p>第 10回 英文読解に向けた方略 (2) テキストの論理の流れの理解（ヨコのつながり）</p> <p>第 11回 自身の考えを述べる—論理的内容構築の練習</p> <p>第 12回 自身の考えを述べる—英文読解をふまえた要約づくりの練習</p> <p>第 13回 自身の考えを述べる—英文読解をふまえたポイント中心の要約づくりの練習</p> <p>第 14回 まとめ—自分自身にとって英語とは？その学習の存在意義とは？</p> <p>第 15回 まとめ—大学生としてもつべき価値観、信念、生き方とは？</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示します			
成績評価の方法	復習テスト (40%)、予習課題を使った授業中の発表等 (20%)、レポート（日本語、英語）(40%)			
実務経験について				

(注) 食物栄養専攻、生活科学専攻

授業科目	英語Ⅲ (D)		担当者	グレゴリー・ダン
	[履修年次]	1,2年	授業外対応	
	[学期]	後期	[単位]	1単位
			[必修/選択]	選択
			[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course focuses on developing the student's ability to talk about topics related to science and nutrition and to comprehend related listening and written activities</p> <p>【概要】 Students will listen to short talks, read the talks for comprehension and practice short conversations related to them. Students will have opportunities to develop/create their own conversations related to the topics. The topics encountered in the te</p> <p>【到達目標】 This course aims to develop the students overall proficiency in the use of English related to science and nutrition while enhancing their ability to confidently express their own opinions related to the various topics encountered in the classroom. T</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Healthy Habits for a Better Life</p> <p>(2)</p>			
授業スケジュール	<p>第 1回 Introductions</p> <p>第 2回 Sleep is Important</p> <p>第 3回 Is Salt Bad for Us?</p> <p>第 4回 Water is Wonderful</p> <p>第 5回 Hot Springs: A Miracle of Nature</p> <p>第 6回 Healthy Lessons from the Blue Zone</p> <p>第 7回 Unhealthy Habits</p> <p>第 8回 Let's Dance!</p> <p>第 9回 The Story of Sugar</p> <p>第 10回 Companion Animals</p> <p>第 11回 Music and Medicine</p> <p>第 12回 Please Listen to Me!</p> <p>第 13回 Let's Eat Together!</p> <p>第 14回 Believe in Yourself!</p> <p>第 15回 Review</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示			
成績評価の方法	Short Presentations 30%, Homework 20%, Quizzes 20%, Exams 30 %			
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations			

(注) 日本語日本文学専攻、経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅲ (E)	担当者	グレゴリー・ダン
	[履修年次] 1,2年 [学期] 後期 [単位] 1単位	授業外対応	
		[必修/選択]	選択 [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course focuses on the use of conversational English while developing the students' ability to express opinions and engage in short discussions. The units covered relate to types of situations and challenges learners encounter in everyday life.</p> <p>【概要】 Students will listen to short conversations, practice short conversations, and develop/create their own conversations. They will learn how to express their opinions and engage in short discussions related to the topics encountered in the text.</p> <p>【到達目標】 This course aims to develop the students overall proficiency in the use of everyday conversational English while enhancing their ability to confidently express their own opinions on a variety of topics.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Complete Communication</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第 1 回 Introduction to the Course</p> <p>第 2 回 What are you into – Talking about Hobbies and Interests</p> <p>第 3 回 Who' are they – Talking about friends and family</p> <p>第 4 回 What shall we watch? - Talking about Movies and TV</p> <p>第 5 回 What are you listening to? - Talking about Music</p> <p>第 6 回 What are you reading? – Talking about books</p> <p>第 7 回 I'm hungry - Talking about Food</p> <p>第 8 回 Review 1</p> <p>第 9 回 How do you stay fit? Talking about Health</p> <p>第10 回 I don't feel so good – Talking about Illness</p> <p>第11 回 Why do you do that? – Talking about Culture</p> <p>第12 回 It's a special day - Talking about Holidays and Festivals</p> <p>第13 回 I've never done that before – Talking about experiences</p> <p>第14 回 Let's meet in Paris! Talking about the Future</p> <p>第15 回 Review</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Short Presentations 30%, Homework 20%, Quizzes 20%, Exams 30 %		
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations		

(注) 日本語日本文学専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

授業科目	英語Ⅲ (F)	担当者	新福 豊実
	[履修年次] 1年 [学期] 後期 [単位] 1単位	授業外対応	授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約
		[必修/選択]	選択 [授業形態] 講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】</p> <p>英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。</p> <p>【概要】 日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。</p> <p>【到達目標】 日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Marc Helgesen et al. 『English Firsthand (5th Edition) Success』 Pearson Longman</p> <p>(2) 授業時に適宜指示する。</p>		
授業スケジュール	<p>第 1 回 Class overview: Learning goals and strategies (Unit zero)</p> <p>第 2 回 Introduce yourself to a partner/Talk about your hobbies and interests (Unit 1)</p> <p>第 3 回 Describe the clothes you are wearing/Talk about fashions you enjoy (Unit 2)</p> <p>第 4 回 Give advice about staying healthy/Ask about your partner's habits (Unit 3)</p> <p>第 5 回 Ask for and give directions to a place/Identify places in your community (Unit 4)</p> <p>第 6 回 Describe different objects/Listen to your partner describe an object (Unit 5)</p> <p>第 7 回 Talk about your goals/Ask about your partner's goals (Unit 6)</p> <p>第 8 回 Review I</p> <p>第 9 回 Talk about your past experiences/Ask your partner about past experiences (Unit 7)</p> <p>第10 回 Describe animals and nature/Ask questions about animals and nature (Unit 8)</p> <p>第11 回 Talk about things you can and can't do/Ask your partner about what he or she can and can't do (Unit 9)</p> <p>第12 回 Ask about likes and dislikes/Invite someone to do something you like with you (Unit 10)</p> <p>第13 回 Talk about rules and laws in other countries/Describe what people in your life should or shouldn't do (Unit 11)</p> <p>第14 回 Make up a story and tell it to your partner/Tell a story you know to your partner (Unit 12)</p> <p>第15 回 Review II</p>		
授業外学習(予習・復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。		
成績評価の方法	期末試験 (40%) 復習テスト (30%) 課題 (20%) ポートフォリオ (10%)		
実務経験について	なし		

(注) 全専攻

授業科目	英語Ⅲ (G)		担当者	デビッド・マルチネズ・ガッデューラ		
	[履修年次]	1年	授業外対応	After the class		
	[学期]	後期	[単位]	1単位	[必修/選択]	選択
				[授業形態]	演習方式	
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course offers additional techniques for improving listening and speaking in English, with an emphasis on rhetoric. Using various materials including texts, students will learn how to organize ideas, form opinions and provide reasons in order to</p> <p>【概要】 Students will learn to identify topics for discussion and utilize rhetorical strategies in order to initiate or participate in basic debate. Using clear conversation models, students should be able to identify a topic, give their opinions and support</p> <p>【到達目標】 The course will continue to build on the fundamental conversation elements learned in first semester, growing students' ability to quickly identify a topic and appeal to listeners with their ideas. Emphasis will be placed on saying things in a timely</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>					
授業スケジュール	<p>第 1 回 Course overview and survey</p> <p>第 2 回 Music and Movies</p> <p>第 3 回 Polite English & negative expressions</p> <p>第 4 回 Inviting and declining</p> <p>第 5 回 Reporting what someone else said</p> <p>第 6 回 Talking about feelings</p> <p>第 7 回 Stress and intonation</p> <p>第 8 回 Review Test 1</p> <p>第 9 回 Finding issues and giving opinions</p> <p>第 10 回 Giving reasons</p> <p>第 11 回 Supporting your reasons</p> <p>第 12 回 Debate practice</p> <p>第 13 回 Confirming and summarizing a thought</p> <p>第 14 回 Refuting someone's argument</p> <p>第 15 回 Review Test 2</p>					
授業外学習(予習・復習)	適宜指示					
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%					
実務経験について						

(注) 全専攻

授業科目	英語Ⅲ (H)		担当者	デビッド・マルチネズ・ガッデューラ		
	[履修年次]	1年	授業外対応	After the class		
	[学期]	後期	[単位]	1単位	[必修/選択]	選択
				[授業形態]	演習方式	
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course offers additional techniques for improving listening and speaking in English, with a focus on consensus building and problem solving. Using various materials including texts, students will be exposed to and be expected to employ voca</p> <p>【概要】 Students will learn how to identify a complaint or a problem and utilize specific language in order to propose solutions, make counter arguments or offer support.</p> <p>【到達目標】 The course will continue to build on fundamental conversation elements learned in first semester, helping students to respond in a timely and appropriate manner to others. Students will have ample English practice giving and receiving advice and cr</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) All materials will be prepared by the instructor.</p> <p>(2) N/A</p>					
授業スケジュール	<p>第 1 回 Course overview and survey</p> <p>第 2 回 A review of "W" and "H" questions</p> <p>第 3 回 Making a decision and making plans</p> <p>第 4 回 Talking about careers, job satisfaction</p> <p>第 5 回 Talking about health</p> <p>第 6 回 The language of caring</p> <p>第 7 回 Interruptions</p> <p>第 8 回 Review Test 1</p> <p>第 9 回 Your favorite things</p> <p>第 10 回 Compare what you like</p> <p>第 11 回 Stating preferences</p> <p>第 12 回 Making a suggestion vs. making a recommendation</p> <p>第 13 回 Talking about problems</p> <p>第 14 回 Giving advice</p> <p>第 15 回 Review Test 2</p>					
授業外学習(予習・復習)	適宜指示					
成績評価の方法	In class activities/participation: 30% Homework: 30% Review Test 1: 20% Review Test 2: 20%					
実務経験について						

(注) 日本語日本文学専攻, 生活科学専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

授業科目	英語Ⅳ (A)	担当者	ニコライ・ギュレメトヴ
	[履修年次] 2年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中級レベルの英語をつかひながら自分の意見を伝えること。Expressing opinion about a variety of topics in English. 【概要】様々なトピックについて考えて、話し合つて、発表して、自分のコミュニケーション力を強める。映像、プリントなどをつかう。We will use handouts and videos in our class and discussions. 【到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。 Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	(1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2)		
授業スケジュール	第 1 回 オリエンテーション・説明 Orientation class 第 2 回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3 回 クラスワーク (発表をする方法) Presentation skills 第 4 回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5 回 グループ発表 1 First presentation (scheduled) 第 6 回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill 第 7 回 クラスワーク (ディスカッション力) Discussion skill 第 8 回 映画・感想 (watching and discussing a movie) 第 9 回 グループワーク 2 Group work, preparation for presentation 第 10 回 グループ発表 2 Second presentation 第 11 回 クラスワーク (classmate のインタビュー) Interview your classmate! 第 12 回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 2 第 13 回 クラスワーク (聞き取り・読解力) Listening and Reading skills 第 14 回 クラスワーク (コース復習) Revision of all topics covered. 第 15 回 まとめ (Final worksheet/Revision)		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	筆記試験 (60%) + グループ発表 30 + 作文 (宿題-10%) を基準に、総合的に評価する。		
実務経験について			

(注) 日本語日本文学専攻、食物栄養専攻

授業科目	英語Ⅳ (B)	担当者	ジョン・トレマーコ
	[履修年次] 2年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 Everyday Conversation. 【概要】 This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review the basic grammar needed to engage in those conversations. 【到達目標】 To improve students' communication skills.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	(1) English with Pop Hits: Author(s): T. Kadoyama & S. Capper Publisher: Seibido (2)		
授業スケジュール	第 1 回 Introduction and Orientation Explanation of course aims, tests, evaluation methods and teacher expectations. (導入-コースの目標についての説明) 第 2 回 Unit 1: Complicated 第 3 回 Unit 2: SOS 第 4 回 Unit 3: You are not alone 第 5 回 Unit 4: Don't want to lose you 第 6 回 Unit 5: How crazy are you 第 7 回 Unit 6: Sunday Morning 第 8 回 Unit 7: Review 1 第 9 回 Unit 8: I want it that way 第 10 回 Unit 9: Suddenly I see 第 11 回 Unit 10: How am I supposed to live without you 第 12 回 Unit 11: Save the best for Last 第 13 回 Unit 12: Torn 第 14 回 Unit 13: La La means I love you 第 15 回 Unit 14: Review 2 and Course Review; followed by an end of term test in week 16		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Classroom Contribution 20% Groupwork/Homework 40% Final Test 40%		
実務経験について			

(注) 日本語日本文学専攻、食物栄養専攻

授業科目	英語Ⅳ (C)		担当者	グレゴリー・ダン
	[履修年次] 2年		授業外対応	授業終了後
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This course aims to develop the listening and speaking proficiency of students through the study and use of English in everyday situations. The course also aims to encourage the students' creativity in developing conversations of their own. The topic</p> <p>【概要】 Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to comprehend spoken English and to use English with confidence in conversation and brief presentations. Students will also have the opportunity</p> <p>【到達目標】 Emphasis will be placed on developing the students ability and confidence to speak smoothly and naturally while engaging in short conversations.</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Listen Up, Talk Back, Book 2. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)</p> <p>(2)</p>			
授業スケジュール	<p>第 1 回 Introduction of the course and key topics</p> <p>第 2 回 Campus Life</p> <p>第 3 回 Health Care</p> <p>第 4 回 My Favorite Things</p> <p>第 5 回 International Travel</p> <p>第 6 回 Weather</p> <p>第 7 回 Education</p> <p>第 8 回 Review Quiz</p> <p>第 9 回 Exploring a New City</p> <p>第 10 回 Learning English</p> <p>第 11 回 Money</p> <p>第 12 回 The Environment</p> <p>第 13 回 News</p> <p>第 14 回 Review of key units in class groups</p> <p>第 15 回 Final Oral Review Practice in pairs</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示			
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Quizzes 20% Exams 30%			
実務経験について				

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅳ (D)		担当者	米村 大輔
	[履修年次] 2年		授業外対応	適宜対応
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 現代のビジネスモデルについて考える。</p> <p>【概要】 現代の世相を反映したビジネスモデルとその仕組みについて概観する。毎回、特定のトピックについて学生主導のディスカッションを行う(学生一人一人の積極的な発言が求められる)。また各自オリジナルのビジネスモデルを作成し、発表を行う。授業での使用言語は英語である。英検2級合格レベル以上の英語力を持っていることが望ましい。</p> <p>【到達目標】 現代社会における様々なシーンにおいて英語の情報を正確に読み(聞き)取ることができる。ビジネスに関わるボキャブラリーを使いながら自分のアイデアを英語で効果的に伝えることができる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Jonathan Lynch 委文光太郎 著 『Global Pathways』</p> <p>(2) 適宜紹介</p>			
授業スケジュール	<p>第 1 回 Gig Work</p> <p>第 2 回 Your Boss is from Overseas</p> <p>第 3 回 Bitcoin</p> <p>第 4 回 Working from Home</p> <p>第 5 回 Kickstarter</p> <p>第 6 回 Esports</p> <p>第 7 回 Unicorns</p> <p>第 8 回 How do Modern Musicians Make Money?</p> <p>第 9 回 Space Business</p> <p>第 10 回 Going Cashless from a Business's Perspective</p> <p>第 11 回 Workations</p> <p>第 12 回 The Future of "Hanko"</p> <p>第 13 回 Subscription Services</p> <p>第 14 回 Japanese High-End Denim Industry</p> <p>第 15 回 Final Presentation</p>			
授業外学習(予習・復習)	予習(毎回1時間程度+発表者は3時間程度)			
成績評価の方法	課題(10%)、振り返りシート(10%)、授業での取り組み(40%)、プレゼンテーション(40%)			
実務経験について				

(注) 生活専攻、経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅳ (E)		担当者	金岡 正夫
	[履修年次] 2年		授業外対応	授業終了後
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 必修	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】日本と海外、そして過去と現在を交錯させながら、そこから自己成長と英語学習の成熟に向け、学ぶべき重要な事実、考え方、人生観、世界観などをテキストに沿って学んでいく。</p> <p>【概要】実社会や海外に通用する大学生づくりとは何か—どうすればそれが構築していけるのか、英文読解を介して進めていく。担当教員の個人体験(米国大学院留生活)も紹介する。授業では考えたり話し合いをもとに内容理解を深め、予習課題を通して確かな自分づくりにつなげていく。同時に英語の本質(存在意義)についても理解を広めていく。</p> <p>【到達目標】世界のトップレベルの大学が考えている「大学生力」や「人生の成功の意味」について理解する。現在や過去の偉人たちが堅持した大切な価値観や信念を理解し、それを示した遺訓(座右の銘など)も理解する。それと並行してこれまでの自分自身と自分の英語(の存在と学習目的)を見つめ直し、どのような生き方をすべきか自ら答えを出していく。そのために持つべき信念や価値観も明らかにする。こうした点に向け、表現すべき英語力も身につけていく。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 良質なテキストで自己成熟&英語成熟をめざして(英宝社) ISBN 978-4-269-13017-3</p> <p>(2) 特になし</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 米国の大学入試問題(エッセイ)が重視すること</p> <p>第3回 米国の大学教育で伝統的に重視する点とその理由</p> <p>第4回 英国の大学入試問題で試されること</p> <p>第5回 英国の大学がもっているこだわりと信念</p> <p>第6回 日本の大学教育と欧米の大学教育との違いとその背景(1)</p> <p>第7回 日本の大学教育と欧米の大学教育との違いとその背景(2)</p> <p>第8回 まとめ</p> <p>第9回 グローバル時代の英語学習者と英語学習動機づけ</p> <p>第10回 グローバル社会の功罪について大学で議論すべきこと</p> <p>第11回 英語の達人とされる日本人—その歴史的偉業と大切にした価値観・信念(1)</p> <p>第12回 英語の達人とされる日本人—その歴史的偉業と大切にした価値観・信念(2)</p> <p>第13回 英語の達人とされる日本人—その歴史的偉業と大切にした価値観・信念(3)</p> <p>第14回 自分自身にとって英語とは?その学習の存在意義とは?</p> <p>第15回 まとめ</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示します			
成績評価の方法	復習テスト(40%)、予習課題を使った授業中の発表等(20%)、レポート(日本語、英語)(40%)			
実務経験について	なし			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

授業科目	英語Ⅳ (F)		担当者	轟 義昭
	[履修年次] 2年		授業外対応	質問等はメールもしくはオフィスアワーで対応
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】語彙力を増やし、英文法を再確認し、長文読解のコツを身に付けて、英語学習への意欲を高める。</p> <p>【概要】授業では高校で学習した英文法の基礎知識を再確認させます。毎回1課ずつテキストを進むので予習が必要です。担当者はプリントを用いてヒントを与え、受講者自身に間違った箇所をチェックさせます。その上で解説を試みます(学習意欲を高める工夫)。また、LL教室を利用してリスニング問題にも取り組めるようにします。</p> <p>【到達目標】英検2級を取得できるような英語力を身に付ける。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 坂部俊行、岡島徳昭、W.ノエル『英検2級 合格への道』南雲堂 適宜、プリントによる問題も配布</p> <p>(2) 随時紹介する。</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 オリエンテーション(授業の進め方の説明)、プリント学習(受講生のレベルを確認)</p> <p>第2回 Lesson 1(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の応答文選択)</p> <p>第3回 Lesson 2(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の内容一致選択、会話の内容一致選択)</p> <p>第4回 Lesson 3(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の応答文選択)</p> <p>第5回 Lesson 4(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の内容一致選択)</p> <p>第6回 Lesson 5(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の内容一致選択、会話の応答文選択)</p> <p>第7回 Lesson 6(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の内容一致選択)</p> <p>第8回 Lesson 7(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の応答文選択)</p> <p>第9回 Lesson 8(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の内容一致選択、会話の内容一致選択)</p> <p>第10回 Lesson 9(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の応答文選択)</p> <p>第11回 Lesson 10(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の内容一致選択)</p> <p>第12回 Lesson 11(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の応答文選択)</p> <p>第13回 Lesson 12(語句空所補充、短文中の語句整序、長文の語句空所補充と内容一致選択、会話の内容一致選択)</p> <p>第14回 実践形式の練習</p> <p>第15回 まとめ</p>			
授業外学習(予習・復習)	各課の問題を解いて授業に臨む(予習)			
成績評価の方法	筆記試験(50%)、予習を含む授業への取り組み(50%)			
実務経験について	なし			

(注) 全専攻の学生が選択可能

授業科目	英語 IV (G)	担当者	遠峯伸一郎
	[履修年次] 2年	授業外対応	講義前後に適宜対応
	[学期] 前期 [単位] 1単位	[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】アカデミックリーディング</p> <p>【概要】論理的な文章の読解を通して文法や語彙を確認する。確認した文法や語彙を英作文に応用することで、定着を図る。</p> <p>【到達目標】アカデミックな文章を読む技能を身につける。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 新井巧磨ほか (2021) 『日本文化の再発見から学ぶ Essay の書き方・読み方』, 南雲堂, 東京。</p> <p>(2) 三森ゆりか (2003) 『外国語を身につけるための日本語レッスン』大修館書店, 東京。 / 池上嘉彦 (2006) 『英語の感覚・日本語の感覚 <ことばの意味>の仕組み』NHK 出版, 東京。 / 外山滋比古 (1992) 『英語の発想・日本語の発想』NHK 出版, 東京。</p>		
授業スケジュール	<p>第 1 回 ガイダンス</p> <p>第 2 回 Unit 1 The Story of Wasabi</p> <p>第 3 回 Unit 2 Architecture: Japanese Castles</p> <p>第 4 回 Unit 3 Matsuri: Festivals in Japan</p> <p>第 5 回 Unit 4 Japanese Corporate Culture</p> <p>第 6 回 Unit 5 Examination War</p> <p>第 7 回 Unit 6 Uniqueness of Japanese Trains</p> <p>第 8 回 Unit 7 The Key to Long Life</p> <p>第 9 回 Unit 8 Distinct Style or Neglect of Identity</p> <p>第 10 回 Unit 9 Drinking Rituals</p> <p>第 11 回 Unit 10 Traditional Crafts in Japan</p> <p>第 12 回 Unit 11 Home Video Game Consoles from Japan</p> <p>第 13 回 Unit 12 Onsen: Hot Springs</p> <p>第 14 回 Unit 13 Folktales: Sensitivity to Things and Nature</p> <p>第 15 回 まとめ</p>		
授業外学習(予習・復習)	予習 1 時間程度, 復習 1 時間以上必要である。この予復習時間は英検準 2 級程度の英語力を前提とする。		
成績評価の方法	授業への取り組み (50%) + 試験 (50%)		
実務経験について	なし		

(注) 全専攻の学生が選択可能

授業科目	異文化コミュニケーション (英語)		担当者	英語担当教員全員		
	[履修年次]	指定なし	授業外対応			
	[学期]	通年 [単位] 2単位	[必修/選択]	選択	[授業形態]	実習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】生きた英語の運用能力を高める。</p> <p>【概要】ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジで研修を行う。授業は英語研修とハワイ文化研修から成り立ち、滞在期間中、基礎的な生活英語とハワイの文化習慣などについて直接体験する。</p> <p>2019年度の実績</p> <p>日程：9月4日～9月17日</p> <p>参加者：31名</p> <p>研修費用：約38万円（授業料、往復航空運賃、宿泊費、平日の朝・昼食費等）</p> <p>【到達目標】英語運用能力を高めるだけでなく、ハワイの文化を学び、多文化が共生するハワイで「国際化」「グローバル化」の意味を自らの実体験を通して考え、理解する。</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	(1) ハワイ大学附属カピオラニ・コミュニティ・カレッジの担当教員が指示 (2)					
授業スケジュール	<p>第1回 事前指導： 特設時間を利用して受講希望者に3～4回行う。ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジでの研修内容の説明、パスポートの取得方法など、海外渡航に伴うさまざまな必要事項の説明、課題（研修中の日記、研修後のレポート作成）の指示など。</p> <p>海外研修： 9月を予定（約2週間）。現地の大学では、午前中に英語の授業、午後にはハワイ文化に関する授業（フラダンス）、KCC学生との異文化交流。その他、学外授業としてプランテーションヴィレッジ、イオラニ宮殿、真珠湾の見学。</p> <p>事後指導：帰国後に総括。</p>					
授業外学習(予習・復習)						
成績評価の方法	担当教員が課した課題（研修日誌・体験記）（50%）とハワイでの研修状況（50%）で評価する。					
実務経験について						

授業科目	異文化コミュニケーション (中国語)		担当者	中国語担当教員全員		
	[履修年次]	指定なし	授業外対応			
	[学期]	通年 [単位] 2単位	[必修/選択]	選択	[授業形態]	実習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】生きた中国語の運用能力を高める。</p> <p>【概要】南京農業大学国際教育学院で研修を行います。南京農業大学国際教育学院は、わたしたち県立短大と交流協定を結んでいる中国の大学です。この科目は、中国語研修と中国文化研修から成り立ちます。中国滞在期間中、基礎的な実用中国語を習得し、さらに、南京農業大学の学生と交流し、中国の文化習慣などについて直接体験します。</p> <p>中国語を用いて活動するため、あらかじめ「中国語Ⅰ」を受講または修得していることが履修条件になります。</p> <p>※2019年度中国研修の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：9月7日（土）～21日（土）[15日間] ・参加者：11名（ <p>【到達目標】「国際化」の意味を自らの実体験を通して考え理解する。</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	(1) 南京農業大学国際教育学院の担当教員が指示します。 (2)					
授業スケジュール	<p>第1回 事前指導 受講希望者に3～5回行います。</p> <p>[1] 南京農業大学国際教育学院での研修内容の説明、</p> <p>[2] 海外渡航に伴うさまざまな事柄の説明、</p> <p>[3] 課題（レポート作成）の指示などです。</p> <p>海外研修 休業期間に約2週間実施予定です。現地の大学で中国語の授業を受けます。そのほか、さまざまな活動を通じて中国の生活・文化に関する体験をします。さらに南京農業大学外国語学院日本語専攻の学生と交流します。</p> <p>事後指導 帰国後に総括します。</p>					
授業外学習(予習・復習)	適宜指示					
成績評価の方法	担当教員が課した課題（50%）、および中国での学習成果（50%）を基に成績を算出します。					
実務経験について						

授業科目	ドイツ語Ⅰ		担当者	荒巻 那月
	[履修年次] 1年		授業外対応	メールにて対応
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】現在ヨーロッパでは、EU（ヨーロッパ連合、つまりヨーロッパの統一）という歴史的な大実験が進行中で、ドイツはフランスとともにこの動きの中核をなす国の一つです。また、ドイツ語は1億2000万弱の母国語人口を擁し、ヨーロッパに限れば最大の言語とすることができます。このように、社会的・文化的に大きな影響力を持つ現代ドイツの事情に関する話を適宜盛り込みながら、ドイツ語を学習します。</p> <p>【概要】ほとんどの人にとっては初めて習う外国語ですが、「習うより慣れろ」をモットーに、授業は元気よく声を出して簡単な練習を何度も繰り返すやり方で進めます。</p> <p>【到達目標】1年間の学習で、自己紹介から日常生活の簡単な会話表現を身に付け、ドイツ語のしくみの概観を得ることが目標です。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 荻野蔵平・Tobias Bauer 著 『青春はうるわし』 朝日出版社</p> <p>(2) 在間進 他『アクセス独和辞書』 三修社</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 ドイツ語及びドイツ語圏について、文字、アルファベット</p> <p>第2回 綴り字と発音の規則、発音練習</p> <p>第3回 第1課 人称と動詞の現在人称変化、定動詞の位置、動詞 sein</p> <p>第4回 第1課</p> <p>第5回 第1課</p> <p>第6回 第2課 名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化、動詞 haben</p> <p>第7回 第2課</p> <p>第8回 第2課</p> <p>第9回 第3課 名詞の複数形、複数名詞の格変化、男性弱変化名詞</p> <p>第10回 第3課</p> <p>第11回 第4課 不規則動詞、命令形、人称代名詞、動詞 werden</p> <p>第12回 第4課</p> <p>第13回 第4課</p> <p>第14回 これまでの復習</p> <p>第15回 復習と試験の説明</p>			
授業外学習(予習・復習)	1回の授業につき、予習1時間、復習1時間が必要			
成績評価の方法	筆記試験80%、授業への参加状況20%			
実務経験について				

(注) 英語英文学専攻

授業科目	ドイツ語Ⅱ		担当者	荒巻 那月
	[履修年次] 1年		授業外対応	メールにて対応
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】現在ヨーロッパでは、EU（ヨーロッパ連合、つまりヨーロッパの統一）という歴史的な大実験が進行中で、ドイツはフランスとともにこの動きの中核をなす国の一つです。また、ドイツ語は1億2000万弱の母国語人口を擁し、ヨーロッパに限れば最大の言語とすることができます。このように、社会的・文化的に大きな影響力を持つ現代ドイツの事情に関する話を適宜盛り込みながら、ドイツ語を学習します。</p> <p>【概要】ほとんどの人にとっては初めて習う外国語ですが、「習うより慣れろ」をモットーに、授業は元気よく声を出して簡単な練習を何度も繰り返すやり方で進めます。</p> <p>【到達目標】2年間の学習で、自己紹介から日常生活の簡単な会話表現を身に付け、ドイツ語のしくみの概観を得ることが目標です。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 荻野蔵平・Tobias Bauer 著 『青春はうるわし』 朝日出版社</p> <p>(2) 在間進 他『アクセス独和辞書』 三修社</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 前期の復習</p> <p>第2回 第5課 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形</p> <p>第3回 第5課</p> <p>第4回 第5課</p> <p>第5回 第6課 定冠詞類、不定冠詞類、否定の nicht、否定冠詞 kein</p> <p>第6回 第6課</p> <p>第7回 第7課 分離動詞、非分離動詞、副文、従属接続詞</p> <p>第8回 第7課</p> <p>第9回 第7課</p> <p>第10回 第8課 話法の助動詞、未来形</p> <p>第11回 第8課</p> <p>第12回 第9課と10課 動詞の三基本形、過去人称変化、現在完了、非人称の es</p> <p>第13回 第9課と10課</p> <p>第14回 これまでの復習</p> <p>第15回 復習と試験の説明</p>			
授業外学習(予習・復習)	1回の授業につき、予習1時間、復習1時間が必要			
成績評価の方法	筆記試験80%、授業への参加状況20%			
実務経験について				

(注) 英語英文学専攻

授業科目	フランス語Ⅰ	担当者	梁川 英俊
	〔履修年次〕 英語英文学専攻は1年次、生活科学専攻は2年次 〔学期〕 前期 〔単位〕 1単位	授業外対応	授業終了後
		〔必修/選択〕	選択 〔授業形態〕 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】フランス語の基礎を学びます。</p> <p>【概要】フランス語はフランスのみならず、ベルギー、スイス、カナダ、中東、アフリカ諸国など広い地域で話される国際語で、フランス語を公用語とする国は28カ国に及びます。フランス語はまた国連などの主要な国際機関でも公用語として使用されています。同じラテン語から派生したスペイン語、イタリア語、ポルトガル語などの共通点も多く、これらの言葉はフランス語を学ぶことにより学習が容易になります。また歴史的に英語に多くの語彙を提供し、英語の語彙の3分の1はフランス語に由来すると言われています。もちろん、ファッションや料理を勉</p> <p>【到達目標】まずフランス語の発音をきちんとできるようになることが大事です。その上で、簡単な日常会話のフレーズも覚えれば楽しいでしょう。外国語はこまめな学習が大切です。こつこつやる習慣を身につけましょう！</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 『私だけのフランス語ノート』(朝日出版社)</p> <p>(2) 適宜指示する</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 授業全体の説明、アルファベットの発音など</p> <p>第2回 Leçon 1</p> <p>第3回 Leçon 1</p> <p>第4回 Leçon 2</p> <p>第5回 Leçon 2</p> <p>第6回 Leçon 3</p> <p>第7回 Leçon 3</p> <p>第8回 Leçon 4</p> <p>第9回 Leçon 4</p> <p>第10回 Leçon 5</p> <p>第11回 Leçon 5</p> <p>第12回 Leçon 6</p> <p>第13回 Leçon 6</p> <p>第14回 まとめ 1</p> <p>第15回 まとめ 2</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	筆記試験(70%) + 小テスト(30%)		
実務経験について			

(注) 英語英文学専攻は1年次、生活科学専攻は2年次

授業科目	フランス語Ⅱ	担当者	梁川 英俊
	〔履修年次〕 英語英文学専攻は1年次、生活科学専攻は2年次 〔学期〕 後期 〔単位〕 1単位	授業外対応	授業終了後
		〔必修/選択〕	選択 〔授業形態〕 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】フランス語の基礎を学びます。</p> <p>【概要】フランス語はフランスのみならず、ベルギー、スイス、カナダ、中東、アフリカ諸国など広い地域で話される国際語で、フランス語を公用語とする国は28カ国に及びます。フランス語はまた国連などの主要な国際機関でも公用語として使用されています。同じラテン語から派生したスペイン語、イタリア語、ポルトガル語などの共通点も多く、これらの言葉はフランス語を学ぶことにより学習が容易になります。また歴史的に英語に多くの語彙を提供し、英語の語彙の3分の1はフランス語に由来すると言われています。もちろん、ファッションや料理を勉</p> <p>【到達目標】まずフランス語の発音をきちんとできるようになることが大事です。その上で、簡単な日常会話のフレーズも覚えれば楽しいでしょう。外国語はこまめな学習が大切です。こつこつやる習慣を身につけましょう！</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 『私だけのフランス語ノート』(朝日出版社)</p> <p>(2) 適宜指示する</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 Leçon 7</p> <p>第2回 Leçon 7</p> <p>第3回 Leçon 8</p> <p>第4回 Leçon 8</p> <p>第5回 Leçon 9</p> <p>第6回 Leçon 9</p> <p>第7回 Leçon 10</p> <p>第8回 Leçon 10</p> <p>第9回 Leçon 11</p> <p>第10回 Leçon 11</p> <p>第11回 Leçon 12</p> <p>第12回 Leçon 12</p> <p>第13回 まとめ 1</p> <p>第14回 まとめ 2</p> <p>第15回 まとめ 3</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	筆記試験(70%) + 小テスト(30%)		
実務経験について			

授業科目	中国語 I (A)		担当者	楊 虹		
	[履修年次] 1年		授業外対応	適宜対応 (要予約)		
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択]	選択 (注)	[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 中国語に親しむ。</p> <p>【概要】 この授業では、中国語の発音を身につけ、ロールプレイ、ゲームなど様々な教室活動を通して、中国語の基本構文を楽しく学ぶ。さらに中国の音楽や映画などの映像、留学生との交流活動を通して中国の社会や文化にも触れる。</p> <p>【到達目標】 中国語の発音記号 (ピンイン) の読み方と綴り方がわかり、簡単な日常あいさつ、自己紹介ができる。</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 陳淑梅・胡興智『楽々学習初級中国語 12 課』同学社</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>					
授業スケジュール	<p>第 1 回 オリエンテーション：授業の概要説明、中国語で自分の名前を言う練習</p> <p>第 2 回 発音 (1)：単母音と声調の導入、練習</p> <p>第 3 回 発音 (2)：複母音の導入、練習</p> <p>第 4 回 発音 (3)：子音の導入、練習</p> <p>第 5 回 発音 (4)：子音の練習、発音のまとめ</p> <p>第 6 回 動詞是の使い方</p> <p>第 7 回 姓の言い方、尋ね方。フルネームの言い方、尋ね方</p> <p>第 8 回 これまでの復習</p> <p>第 9 回 動詞文の導入と練習</p> <p>第 10 回 動詞文の練習、疑問文の練習</p> <p>第 11 回 二つ以上の動詞からなる連動文</p> <p>第 12 回 希望や願望を表す助動詞「想」の導入、練習</p> <p>第 13 回 留学生との交流：中国人留学生と中国語で話してみる</p> <p>第 14 回 全体の復習</p> <p>第 15 回 まとめ</p>					
授業外学習 (予習・復習)	適宜小テストを実施するので、毎回復習が必要である。					
成績評価の方法	小テスト (40%) と中国に関する発表またはレポート (10%)、口頭試験 (50%) で評価する					
実務経験について						

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語 I (B)		担当者	中筋 健吉		
	[履修年次] 1年		授業外対応	メールで対応します。k9553471@kadai.jp		
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択]	選択(注)	[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語 I ではまず基本的な中国語の発音を学び、その後テキストに従って文法、会話を勉強します。毎回小テストを行いますので、頑張ってください。なお、中国事情や文化の理解のために、適宜中国文化紹介 DVD や、期間中 1 回は中国映画を鑑賞する予定です。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします</p>					
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ！中国語コミュニケーション』(朝日出版社)</p> <p>(2)</p>					
授業スケジュール	<p>第 1 回 イントロダクション 中国語について 教科書の使い方</p> <p>第 2 回 発音篇 (1) ピンイン、声調、母音、複合母音、子音</p> <p>第 3 回 発音篇 (2) 鼻母音、声調変化、発音まとめ</p> <p>第 4 回 第 0 課 名前について話す</p> <p>第 5 回 第 1 課 (1) 身分や出身について話す</p> <p>第 6 回 第 1 課 (2) 身分や出身について話す</p> <p>第 7 回 第 2 課 (1) 身の回りの物や人について話す</p> <p>第 8 回 第 2 課 (2) 身の回りの物や人について話す</p> <p>第 9 回 第 3 課 (1) 年齢や学年、所有について話す</p> <p>第 10 回 第 3 課 (2) 年齢や学年、所有について話す</p> <p>第 11 回 第 4 課 (1) 時間や一日の行動について話す</p> <p>第 12 回 第 4 課 (2) 時間や一日の行動について話す</p> <p>第 13 回 第 5 課 (1) 性質や状態、天候について話す</p> <p>第 14 回 第 5 課 (2) 性質や状態、天候について話す</p> <p>第 15 回 前期のまとめ *スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>					
授業外学習 (予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。					
成績評価の方法	筆記試験 (50%) + 授業中に実施する小テスト (10%) + 授業での発言内容 (40%) 但し状況により変更の可能性もあります。					
実務経験について						

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25 人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅰ (C)		担当者	孟 卓然
	[履修年次] 1年		授業外対応	メールで対応します。
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の基礎知識を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインと声調の読み方をマスターし、簡単な挨拶と自己紹介ができることを目的とします。授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試HSK筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語コミュニケーションCEFR A1レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 発音編1:単母音、複合母音、声調について学ぶ</p> <p>第3回 発音編2:鼻母音、子音について学ぶ</p> <p>第4回 発音編3:発音編まとめ</p> <p>第5回 第1課:「是」の文型と疑問詞「哪里」について学ぶ</p> <p>第6回 第1課:自己紹介と簡単な挨拶について学ぶ</p> <p>第7回 第2課:指示代名詞、疑問文について学ぶ</p> <p>第8回 第2課:指示代名詞、疑問文について復習する</p> <p>第9回 第3課:数字の表現について学ぶ</p> <p>第10回 第3課:「有/没有」の文型について学ぶ</p> <p>第11回 第4課:時間と曜日の表現について学ぶ</p> <p>第12回 第4課:時刻の表現について学ぶ</p> <p>第13回 第5課:形容詞について学ぶ</p> <p>第14回 第5課:程度副詞について学ぶ</p> <p>第15回 前期授業内容のまとめと復習</p>			
授業外学習(予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。			
成績評価の方法	授業での発言内容(50%)＋定期試験(50%)			
実務経験について	なし			

(注) 英語英文学専攻、経済専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅰ (D)		担当者	陳 躍
	[履修年次] 1年		授業外対応	授業終了後及びメールによる (アドレスは講義中に告知)
	[学期] 前期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】楽しい中国語会話</p> <p>【概要】中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。</p> <p>【到達目標】中国語検定準四級。漢語水平考試HSK筆記1級程度。前期はその前半部分の学習に当てる</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) テキスト①『楽しい中国』于国軍著 斯文堂</p> <p>(2) ①関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳一日中往来』陳躍著 南日本新聞社</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 我是上海人</p> <p>第2回 我叫王平</p> <p>第3回 这里是南京路</p> <p>第4回 现在几点了?</p> <p>第5回 今天是星期几?</p> <p>第6回 你家有几口人?</p> <p>第7回 没关系 (映画)</p> <p>第8回 香港的夏天热吗? (映画)</p> <p>第9回 四川菜很好吃 (中間テスト)</p> <p>第10回 我经常散步</p> <p>第11回 牌价是多少?</p> <p>第12回 汉语难不难?</p> <p>第13回 我没吃蒜</p> <p>第14回 我想去超市</p> <p>第15回 まとめ</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜指示			
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。残り50%の評価は小テストとレポートにする			
実務経験について				

(注) 英語英文学専攻、経済専攻、経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅰ (E)	担当者	三木 夏華
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了時に対応
		[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初めて中国語を学ぶ学生のための入門コース。</p> <p>【概要】中国語で最も難しいとされる発音と声調をしっかりとマスターし、基本的な文法事項を学ぶことを目的とする</p> <p>【到達目標】1 自己紹介など簡単な会話能力を身につける。2 ピンイン、声調記号が読めるようになる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 「しゃべっていいとも 中国語」朝日出版社 陳淑梅、劉光赤 著</p> <p>(2) 授業で紹介する。</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 発音、声調</p> <p>第2回 発音、声調</p> <p>第3回 発音、声調</p> <p>第4回 発音、声調</p> <p>第5回 人称代名詞、名前の言い方</p> <p>第6回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第7回 “的”、“是”について</p> <p>第8回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第9回 動詞述語文、連動文</p> <p>第10回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第11回 指示代名詞、“有”構文</p> <p>第12回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第13回 “在”構文、方位詞</p> <p>第14回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第15回 まとめ</p>		
授業外学習(予習・復習)	前回学習した課をCDを聞いて必ず復習すること。重要フレーズは暗記すること。		
成績評価の方法	期末試験50%+授業での発言内容、出席態度、復習・課題の状況50%		
実務経験について	あり。鹿児島大学法文学部准教授。		

(注) 経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅰ (F)	担当者	中筋 健吉
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1単位	授業外対応	メールで対応します。k9553471@kadai.jp
		[必修/選択] 選択(注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語Ⅰではまず基本的な中国語の発音を学び、その後テキストに従って文法、会話を勉強します。毎回小テストを行いますので、頑張ってください。なお、中国事情や文化の理解のために、適宜中国文化紹介DVDや、期間中1回は中国映画を鑑賞する予定です。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語コミュニケーション』(朝日出版社)</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 インTRODクシヨン 中国語について 教科書の使い方</p> <p>第2回 発音篇(1) ピンイン、声調、母音、複合母音、子音</p> <p>第3回 発音篇(2) 鼻母音、声調変化、発音まとめ</p> <p>第4回 第0課 名前について話す</p> <p>第5回 第1課(1) 身分や出身について話す</p> <p>第6回 第1課(2) 身分や出身について話す</p> <p>第7回 第2課(1) 身の回りの物や人について話す</p> <p>第8回 第2課(2) 身の回りの物や人について話す</p> <p>第9回 第3課(1) 年齢や学年、所有について話す</p> <p>第10回 第3課(2) 年齢や学年、所有について話す</p> <p>第11回 第4課(1) 時間や一日の行動について話す</p> <p>第12回 第4課(2) 時間や一日の行動について話す</p> <p>第13回 第5課(1) 性質や状態、天候について話す</p> <p>第14回 第5課(2) 性質や状態、天候について話す</p> <p>第15回 前期のまとめ *スケジュールは授業進捗その他の状況によって変更することもあります。</p>		
授業外学習(予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。		
成績評価の方法	筆記試験(50%) + 授業中に実施する小テスト(10%) + 授業での発言内容(40%) 但し状況により変更の可能性もあります。		
実務経験について			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語 I (G)		担当者	土肥 克己			
	[履修年次]	2年	授業外対応	メールで事前連絡すること			
	[学期]	前期	[単位]	1単位	[必修/選択]	選択 (注) [授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】単語で作文 I</p> <p>【概要】1回に25個ほどの単語を覚えてきてもらい、それを使って作文をします。基本的に単純な文だけにして、書かずに口頭で答えてみましょう。短い文がぱっと口から出るようになれば、外国語もそれほど難しくはないものです。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度に1年間の語学目標レベルを設定します。前期はその前半部分の学習に当てます。</p>						
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布します。</p> <p>(2) 関西大学中国語教材研究会編『中国語検定徹底対策準4級』アルク</p>						
授業スケジュール	<p>第1回 授業の進め方について</p> <p>第2回 声調と母音</p> <p>第3回 子音</p> <p>第4回 発音のまとめ</p> <p>第5回 表記の規則</p> <p>第6回 クラス名簿, あいさつ (1)</p> <p>第7回 クラス名簿, あいさつ (2)</p> <p>第8回 数字, お金, 時刻 (1)</p> <p>第9回 数字, お金, 時刻 (2)</p> <p>第10回 数字, お金, 時刻 (3)</p> <p>第11回 簡単な動詞の文 (1)</p> <p>第12回 簡単な動詞の文 (2)</p> <p>第13回 意思表示, 誘いかた (1)</p> <p>第14回 意思表示, 誘いかた (2)</p> <p>第15回 まとめ</p>						
授業外学習(予習・復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。						
成績評価の方法	作文と小テスト 50%, 定期試験 50%						
実務経験について	なし						

(注) 食物栄養専攻, 生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語 I (H)		担当者	孟 卓然			
	[履修年次]	2年	授業外対応	メールで対応します。			
	[学期]	前期	[単位]	1単位	[必修/選択]	選択 (注) [授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の基礎知識を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインと声調の読み方をマスターし、簡単な挨拶と自己紹介ができることを目的とします。授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>						
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ! 中国語コミュニケーション CEFR A1 レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>						
授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 発音編1: 単母音、複合母音、声調について学ぶ</p> <p>第3回 発音編2: 鼻母音、子音について学ぶ</p> <p>第4回 発音編3: 発音編まとめ</p> <p>第5回 第1課: 「是」の文型と疑問詞「哪里」について学ぶ</p> <p>第6回 第1課: 自己紹介と簡単な挨拶について学ぶ</p> <p>第7回 第2課: 指示代名詞、疑問文について学ぶ</p> <p>第8回 第2課: 指示代名詞、疑問文について復習する</p> <p>第9回 第3課: 数字の表現について学ぶ</p> <p>第10回 第3課: 「有没有」の文型について学ぶ</p> <p>第11回 第4課: 時間と曜日の表現について学ぶ</p> <p>第12回 第4課: 時刻の表現について学ぶ</p> <p>第13回 第5課: 形容詞について学ぶ</p> <p>第14回 第5課: 程度副詞について学ぶ</p> <p>第15回 前期授業内容のまとめと復習</p>						
授業外学習(予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。						
成績評価の方法	授業での発言内容(50%) + 定期試験(50%)						
実務経験について	なし						

(注) 食物栄養専攻, 生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (A)		担当者	楊 虹
	[履修年次] 1年		授業外対応	適宜対応 (要予約)
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 中国語によるコミュニケーションに慣れる。</p> <p>【概要】 この授業では、中国語Ⅰを履修した受講生を対象としている。前期の内容を復習しつつ、引き続き中国語の基本構文を導入し、中国語を聞いて、話す力を伸ばす。さらに、中国の音楽や映画などの映像、留学生との交流活動を通して中国の社会や文化にも触れる。</p> <p>【到達目標】 学習を進める上での基礎的知識を有し、中国語による家族構成の紹介や、簡単な買い物ができる。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 陳淑梅・胡興智『楽々学習初級中国語12課』同学社</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 オリエンテーション：授業の概要説明、前期の復習</p> <p>第2回 動詞「有」の導入、練習</p> <p>第3回 動詞「在」の導入、練習</p> <p>第4回 「有」と「在」の応用練習</p> <p>第5回 年月日、曜日の言い方の練習</p> <p>第6回 助動詞「得」と「要」言い方の導入、練習</p> <p>第7回 助動詞を使った文の応用練習</p> <p>第8回 復習(1) これまでの内容の復習</p> <p>第9回 形容詞述語文の導入、練習</p> <p>第10回 時刻の言い方の導入、練習</p> <p>第11回 形容詞述語文の応用練習</p> <p>第12回 お金の言い方の導入、練習</p> <p>第13回 量詞の導入、練習</p> <p>第14回 復習(4)：全体の復習</p> <p>第15回 まとめ</p>			
授業外学習(予習・復習)	適宜小テストを実施するので、毎回復習が必要である。			
成績評価の方法	小テスト(40%)と中国に関するレポート(10%)、口頭試験(50%)で評価する			
実務経験について				

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (B)		担当者	中筋 健吉
	[履修年次] 1年		授業外対応	メールで対応します。k9553471@kadai.jp
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択(注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語Ⅰで培った初級の中国語力をさらにステップアップさせるべく、テキストに従って、さまざまな文法、会話のパターンを習得します。小テストも同様に毎回行います。今期も適宜中国文化紹介DVDや中国映画(1回)を鑑賞します。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ！中国語コミュニケーション』(朝日出版社)</p> <p>(2)</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 第6課(1) 趣味や好み、できることについて話す</p> <p>第2回 第6課(2) 趣味や好み、できることについて話す</p> <p>第3回 第7課(1) 住んでいる場所や家族について話す</p> <p>第4回 第7課(2) 住んでいる場所や家族について話す</p> <p>第5回 第8課(1) 場所や存在について話す</p> <p>第6回 第8課(2) 場所や存在について話す</p> <p>第7回 第9課(1) 交通手段や希望について話す</p> <p>第8回 第9課(2) 交通手段や希望について話す</p> <p>第9回 第10課(1) 動作の発生や進行について話す</p> <p>第10回 第10課(2) 動作の発生や進行について話す</p> <p>第11回 第11課(1) 過去の出来事や値段について話す</p> <p>第12回 第11課(2) 過去の出来事や値段について話す</p> <p>第13回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語</p> <p>第14回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語</p> <p>第15回 授業まとめ*スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>			
授業外学習(予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。			
成績評価の方法	筆記試験(50%) + 授業中に実施する小テスト(10%) + 授業での発言内容(40%) 但し状況により変更の可能性もあります。			
実務経験について				

(注) 日本語日本文学専攻

(注) 20～25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (C)		担当者	孟 卓然
	[履修年次] 1年		授業外対応	メールで対応します。
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の簡単な日常会話を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインを正確に読み、趣味、経験などの日常会話ができることを目的とします。授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心に行います。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試HSK筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語コミュニケーションCEFR A1レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス、前期の復習</p> <p>第2回 第6課:趣味や好みについての表現を学ぶ</p> <p>第3回 第6課:「会」、「能」の文型について学ぶ</p> <p>第4回 第7課:家族、人間関係、職業についての表現を学ぶ</p> <p>第5回 第7課:量詞について学ぶ</p> <p>第6回 第8課:場所、方向についての表現を学ぶ</p> <p>第7回 第8課:「在」の文型について学ぶ</p> <p>第8回 第9課:交通手段についての表現を学ぶ</p> <p>第9回 第9課:交通手段についての表現を復習する</p> <p>第10回 第10課:動作の発生と進行についての表現を学ぶ</p> <p>第11回 第10課:動作の発生と進行についての表現を復習する</p> <p>第12回 第11課:中国のお金の単位について学ぶ</p> <p>第13回 第11課:「是...的」と「些」の文型について学ぶ</p> <p>第14回 パフォーマンス課題</p> <p>第15回 後期授業内容のまとめと復習</p>			
授業外学習(予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。			
成績評価の方法	授業での発言内容(50%)＋定期試験(50%)			
実務経験について	なし			

(注) 英語英文学専攻, 経済専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (D)		担当者	陳 躍
	[履修年次] 1年		授業外対応	授業終了後及びメールによる (アドレスは講義中に告知)
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】楽しい中国語会話</p> <p>【概要】中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。</p> <p>【到達目標】中国語検定準四級。漢語水平考試HSK筆記1級程度。前期はその前半部分の学習に当てる</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) テキスト①『楽しい中国』于国軍著 斯文堂</p> <p>(2) ①関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳-日中往来』陳躍著 南日本新聞社</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 来我家玩吧</p> <p>第2回 我打算去旅行</p> <p>第3回 没看过, 听过</p> <p>第4回 我能参加</p> <p>第5回 我记一下</p> <p>第6回 我们边走边谈</p> <p>第7回 好像借给小李了 (中間テスト)</p> <p>第8回 我不会打日文 (映画)</p> <p>第9回 你知道号码吗? (映画)</p> <p>第10回 什么都可以</p> <p>第11回 被谁偷走了呢?</p> <p>第12回 让你久等了</p> <p>第13回 有没有单间?</p> <p>第14回 我说得不好</p> <p>第15回 まとめ</p>			
授業外学習(予習・復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。			
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。残り50%の評価は小テストとレポートにする			
実務経験について				

(注) 英語英文学専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (E)	担当者	三木 夏華
	[履修年次] 1年 [学期] 後期 [単位] 1単位	授業外対応	授業終了時に対応
		[必修/選択]	選択 (注) [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】前期の中国語Ⅰに続く入門コース。</p> <p>【概要】前期に引き続き、中国語の発音要領と中国語文法の基礎をマスターする。道の尋ね方、買い物の仕方など、日常生活で不可欠な表現を身につける。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試HSK筆記1級のレベルにまで到達することを目標とする。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 「しゃべっていいとも 中国語」朝日出版社 陳淑梅、劉光赤 著</p> <p>(2) 授業で紹介する。</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 数の言い方、中国のお金の言い方、値段の尋ね方</p> <p>第2回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第3回 値段の尋ね方、年月日、曜日の言い方</p> <p>第4回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第5回 年齢の言い方、量詞、動詞の重ね型</p> <p>第6回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第7回 時刻の言い方、語気助詞の“了”</p> <p>第8回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第9回 時間の長さの言い方、完了の“了”</p> <p>第10回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第11回 前置詞、助動詞1</p> <p>第12回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第13回 動詞の進行を表す表現、助動詞2</p> <p>第14回 会話練習、ヒアリング</p> <p>第15回 まとめ</p>		
授業外学習(予習・復習)	前回学習した課をCDを聞いて必ず復習すること。重要フレーズは暗記すること。		
成績評価の方法	期末試験50%+授業での発言内容、出席態度、復習・課題の状況50%		
実務経験について	あり。鹿児島大学法文学部准教授。		

(注) 経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (F)	担当者	中筋 健吉
	[履修年次] 1年 [学期] 後期 [単位] 1単位	授業外対応	メールで対応します。k9553472@kadai.jp
		[必修/選択]	選択(注) [授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】初級中国語の学習を行います。</p> <p>【概要】中国語Ⅰで培った初級の中国語力をさらにステップアップさせるべく、テキストに従って、さまざまな文法、会話のパターンを習得します。小テストも同様に毎回行います。今期も適宜中国文化紹介DVDや中国映画(1回)を鑑賞します。</p> <p>【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語コミュニケーション』(朝日出版社)</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 第6課(1) 趣味や好み、できることについて話す</p> <p>第2回 第6課(2) 趣味や好み、できることについて話す</p> <p>第3回 第7課(1) 住んでいる場所や家族について話す</p> <p>第4回 第7課(2) 住んでいる場所や家族について話す</p> <p>第5回 第8課(1) 場所や存在について話す</p> <p>第6回 第8課(2) 場所や存在について話す</p> <p>第7回 第9課(1) 交通手段や希望について話す</p> <p>第8回 第9課(2) 交通手段や希望について話す</p> <p>第9回 第10課(1) 動作の発生や進行について話す</p> <p>第10回 第10課(2) 動作の発生や進行について話す</p> <p>第11回 第11課(1) 過去の出来事や値段について話す</p> <p>第12回 第11課(2) 過去の出来事や値段について話す</p> <p>第13回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語</p> <p>第14回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語</p> <p>第15回 授業まとめ*スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。</p>		
授業外学習(予習・復習)	予習、復習ともに、教科書が指定する音声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。		
成績評価の方法	筆記試験(50%)+授業中に実施する小テスト(10%)+授業での発言内容(40%)但し状況により変更の可能性もあります。		
実務経験について			

(注) 経済専攻、経営情報専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (G)		担当者	土肥 克己
	[履修年次] 2年		授業外対応	メールで事前連絡すること
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】単語で作文Ⅱ</p> <p>【概要】1回に25個ほどの単語を覚えてきてもらい、それを使って作文をします。やや複雑な文にして、基本的に書かず口頭で答えてみましょう。長い作文は文法的に間違えやすいですがそれは気にせず、相手に気持ちを伝えることを大切にします。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度に1年間の語学目標レベルを設定します。後期はその後半部分の学習に当てます。</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布します。</p> <p>(2) 関西大学中国語教材研究会編『中国語検定徹底対策準4級』アルク</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 連続動作, 意向確認 (1)</p> <p>第2回 連続動作, 意向確認 (2)</p> <p>第3回 なに? どこ? だれ? (1)</p> <p>第4回 なに? どこ? だれ? (2)</p> <p>第5回 モノ (1)</p> <p>第6回 モノ (2)</p> <p>第7回 場所 (1)</p> <p>第8回 場所 (2)</p> <p>第9回 状態 (1)</p> <p>第10回 状態 (2)</p> <p>第11回 態度, ある瞬間 (1)</p> <p>第12回 態度, ある瞬間 (2)</p> <p>第13回 1年間の復習 (1)</p> <p>第14回 1年間の復習 (2)</p> <p>第15回 まとめ</p>			
授業外学習(予習・復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。			
成績評価の方法	作文と小テスト50%, 定期試験50%			
実務経験について	なし			

(注) 食物栄養専攻, 生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅱ (H)		担当者	孟 卓然
	[履修年次] 2年		授業外対応	メールで対応します。
	[学期] 後期	[単位] 1単位	[必修/選択] 選択 (注)	[授業形態] 演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語の簡単な日常会話を学び、現代中国の文化事情について触れる。</p> <p>【概要】この授業では、中国語のピンインを正確に読み、趣味、経験などの日常会話ができることを目的とします。授業は主に発音指導、リスニングトレーニング、ペアでの会話練習などの活動を中心にいきます。そのうえ、現代中国の文化事情について触れ、適宜中国映画を鑑賞し、日本文化との違いを考えて、学びます。</p> <p>【到達目標】中国語検定準4級、漢語水平考試 HSK 筆記1級程度(後期終了時の目標)</p>			
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 寺西光輝『使って学ぶ! 中国語コミュニケーション CEFR A1 レベル』朝日出版社</p> <p>(2) 授業の進度に合わせて適宜紹介します。</p>			
授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス、前期の復習</p> <p>第2回 第6課: 趣味や好みについての表現を学ぶ</p> <p>第3回 第6課: 「会」、「能」の文型について学ぶ</p> <p>第4回 第7課: 家族、人間関係、職業についての表現を学ぶ</p> <p>第5回 第7課: 量詞について学ぶ</p> <p>第6回 第8課: 場所、方向についての表現を学ぶ</p> <p>第7回 第8課: 「在」の文型について学ぶ</p> <p>第8回 第9課: 交通手段についての表現を学ぶ</p> <p>第9回 第9課: 交通手段についての表現を復習する</p> <p>第10回 第10課: 動作の発生と進行についての表現を学ぶ</p> <p>第11回 第10課: 動作の発生と進行についての表現を復習する</p> <p>第12回 第11課: 中国のお金の単位について学ぶ</p> <p>第13回 第11課: 「是...的」と「些」の文型について学ぶ</p> <p>第14回 パフォーマンス課題</p> <p>第15回 後期授業内容のまとめと復習</p>			
授業外学習(予習・復習)	単語を予習することと、授業後発音と文法を復習することが望ましいです。			
成績評価の方法	授業での発言内容(50%)＋定期試験(50%)			
実務経験について	なし			

(注) 食物栄養専攻, 生活科学専攻

(注) 20~25人を目安に受講者数を調整します。

授業科目	中国語Ⅲ		担当者	楊 虹				
	[履修年次]	2年	授業外対応	適宜対応 (要予約)				
	[学期]	前期	[単位]	1単位	[必修/選択]	選択 (注)	[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 中国語の体系を把握する。</p> <p>【概要】 この授業は、中国語Ⅰ・Ⅱを履修した受講生を対象とする。中国語検定試験4級程度の語彙、文法の獲得を目指し、中国語の読む・聞く・話す力をさらに伸ばす。また、後半では自律的に中国語を学ぶ力を身につけることを目的に、グループで中国語の寸劇を作って発表する活動を取り入れる。</p> <p>【到達目標】 中国語検定試験4級を取得することを旨とすると同時に今後自律的に中国語を学習していく方法を身につける。</p>							
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布する。</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>							
授業スケジュール	<p>第1回 オリエンテーション：授業の概要説明および1年次に習った内容の復習</p> <p>第2回 年齢の言い方と尋ね方</p> <p>第3回 前置詞「在」(～で～をする)の導入、練習</p> <p>第4回 完了の「了」の導入、練習</p> <p>第5回 時間量の言い方の導入、練習</p> <p>第6回 文末詞「了」の導入、練習</p> <p>第7回 場所の言い方の導入、練習</p> <p>第8回 必要の「得」：「ねばならない」を表す助動詞「得」の導入、練習</p> <p>第9回 これまでの復習：これまで習った内容の復習を行う。</p> <p>第10回 中国語で寸劇①：シナリオの作成</p> <p>第11回 中国語で寸劇②：シナリオの修正</p> <p>第12回 中国語で寸劇③：シナリオの決定、台本を読む練習</p> <p>第13回 中国語で寸劇④：台本を読む練習、通し稽古</p> <p>第14回 中国語で寸劇⑤：発表</p> <p>第15回 まとめ</p>							
授業外学習(予習・復習)	適宜小テストを実施するので、毎回復習が必要である。							
成績評価の方法	小テスト (50%)、口頭試験 (50%) で評価する							
実務経験について								

(注) 生活科学科を除く。

授業科目	中国語Ⅳ		担当者	土肥 克己				
	[履修年次]	2年	授業外対応	メールで事前連絡すること				
	[学期]	後期	[単位]	1単位	[必修/選択]	選択 (注)	[授業形態]	演習方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】中国語で本を読む</p> <p>【概要】中国のラジオドラマの台本を読みます。台本ですので自然な会話文を学べます。発音を特に重視しますので、十分に予習・復習してから受講してください。</p> <p>【到達目標】中国語検定4級レベル、漢語水平考試 HSK 筆記2級程度に半年間の語学目標レベルを設定します。</p>							
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布します。</p> <p>(2)</p>							
授業スケジュール	<p>第1回 授業の進め方について</p> <p>第2回 発音の復習 (1)</p> <p>第3回 発音の復習 (2)</p> <p>第4回 発音の復習 (3)</p> <p>第5回 発音の復習 (4)</p> <p>第6回 講読 (1)</p> <p>第7回 講読 (2)</p> <p>第8回 講読 (3)</p> <p>第9回 講読 (4)</p> <p>第10回 講読 (5)</p> <p>第11回 講読 (6)</p> <p>第12回 講読 (7)</p> <p>第13回 講読 (8)</p> <p>第14回 講読 (9)</p> <p>第15回 まとめ</p>							
授業外学習(予習・復習)	中国語の原文と発音をプリントにして事前に配布するので予習・復習をしてきてください。							
成績評価の方法	予習と発表 100%。定期試験は実施しません。							
実務経験について	なし							

(注) 生活科学科を除く。